



滋賀県立大学 2022年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110121	英語	A (活性化コース)	(人文)	木村 紀子	前期	・ ・ ・	1
1110122	英語	B (活性化コース)	(人文)	木村 紀子	後期	・ ・ ・	3
1110131	英語	A (活性化コース)	(人文)	Matthew Thornton	前期	・ ・ ・	5
1110132	英語	B (活性化コース)	(人文)	Matthew Thornton	後期	・ ・ ・	7
1110141	英語	A (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	9
1110142	英語	B (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	11
1110151	英語	A (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	13
1110152	英語	B (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	15
1110161	英語	A (活性化コース)	(人文)	森田 真	前期	・ ・ ・	17
1110162	英語	B (活性化コース)	(人文)	森田 真	後期	・ ・ ・	19
1110331	英語	A (応用コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	・ ・ ・	21
1110332	英語	B (応用コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	・ ・ ・	23
1110341	英語	A (応用コース)	(人文)	真島 アマンダ	前期	・ ・ ・	25
1110342	英語	B (応用コース)	(人文)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	27
1110351	英語	A (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	前期	・ ・ ・	29
1110352	英語	B (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	後期	・ ・ ・	31
1110361	英語	A (応用コース)	(人文)	Alexandra Jane Burke	前期	・ ・ ・	33
1110362	英語	B (応用コース)	(人文)	Alexandra Jane Burke	後期	・ ・ ・	35
1110371	英語	A (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	37
1110372	英語	B (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	後期	・ ・ ・	39
1110531	英語	A (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	41
1110532	英語	B (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	43
1110541	英語	A (充実コース)	(人文)	真田 満	前期	・ ・ ・	45
1110542	英語	B (充実コース)	(人文)	真田 満	後期	・ ・ ・	47
1110551	英語	A (充実コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	・ ・ ・	49
1110552	英語	B (充実コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	・ ・ ・	51
1110561	英語	A (充実コース)	(人文)	Janeth Hori	前期	・ ・ ・	53
1110562	英語	B (充実コース)	(人文)	Janeth Hori	後期	・ ・ ・	55
1110571	英語	A (充実コース)	(人文)	Christopher Garth	前期	・ ・ ・	57
1110572	英語	B (充実コース)	(人文)	Christopher Garth	後期	・ ・ ・	59
1110741	英語	A (展開コース)	(人文)	西堀 彰子	前期	・ ・ ・	61
1110742	英語	B (展開コース)	(人文)	西堀 彰子	後期	・ ・ ・	63
1110751	英語	A (展開コース)	(人文)	Ashley Stevens	前期	・ ・ ・	65
1110752	英語	B (展開コース)	(人文)	Ashley Stevens	後期	・ ・ ・	67
1110761	英語	A (展開コース)	(人文)	近藤 佑樹	前期	・ ・ ・	69
1110762	英語	B (展開コース)	(人文)	近藤 佑樹	後期	・ ・ ・	71
1110771	英語	A (展開コース)	(人文)	真島 アマンダ	前期	・ ・ ・	73
1110772	英語	B (展開コース)	(人文)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	75
1110781	英語	A (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	前期	・ ・ ・	77
1110782	英語	B (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	後期	・ ・ ・	79
1130090	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文a)	山本 洋紀	前期	・ ・ ・	81	
1130100	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文b)	亀田 彰喜	前期	・ ・ ・	83	
1130110	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文c)	山本 洋紀	前期	・ ・ ・	85	
1130120	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文d)	亀田 彰喜	前期	・ ・ ・	87	
1130200	情報科学概論 (人文b)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	89		
1130210	情報科学概論 (人文a)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	91		
1130220	情報科学概論 (人文c)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	93		
1130230	情報科学概論 (人文d)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	95		
1150370	人間探求学 (生活栄養) 学科教員	前期	・ ・ ・	97			
1400100	運動と健康	東田 一彦	前期	・ ・ ・	99		
1400120	栄養疫学論	今井 絵理	後期	・ ・ ・	101		
1400151	栄養教育論	桑原 頌治	前期	・ ・ ・	103		
1400152	栄養教育論	桑原 頌治	後期	・ ・ ・	105		
1400153	栄養教育論 (カウンセリング論演習を含む)	桑原 頌治	前期	・ ・ ・	107		
1400160	栄養教育論実習	桑原 頌治	前期実習	・ ・ ・	109		
1400190	栄養生化学	福渡 努	前期	・ ・ ・	111		
1400200	栄養生化学実験	福渡 努	後期実習	・ ・ ・	113		
1400210	栄養生理学実習	矢野 仁康	前期実習	・ ・ ・	115		
1400240	応用栄養学	今井 絵理	前期	・ ・ ・	117		
1400250	応用栄養学	今井 絵理	後期	・ ・ ・	119		
1400260	応用栄養学実習	今井 絵理	前期実習	・ ・ ・	121		
1400350	環琵琶湖文化論実習 (生活栄養) 学科教員	通年	・ ・ ・	123			
1400380	管理栄養士総合演習 学科教員	後期	・ ・ ・	125			
1400400	基礎栄養学	福渡 努	後期	・ ・ ・	127		
1400410	基礎栄養学	福渡 努	前期	・ ・ ・	129		
1400420	基礎栄養学実験	福渡 努	前期集中	・ ・ ・	131		
1400450	給食衛生管理実習	奥村 万寿美	前期	・ ・ ・	133		
1400461	給食経営管理実習	奥村 万寿美	前期	・ ・ ・	135		
1400470	給食経営管理臨地実習	奥村 万寿美	前期実習	・ ・ ・	137		
1400481	給食経営管理論	奥村 万寿美	後期	・ ・ ・	139		
1400485	給食経営管理論	奥村 万寿美	前期	・ ・ ・	141		
1400620	健康情報管理実習	遠藤 弘史	前期	・ ・ ・	143		
1400790	公衆衛生学	大江 武	後期	・ ・ ・	145		
1400800	公衆栄養学	今井 絵理	前期	・ ・ ・	147		
1400810	公衆栄養学実習	今井 絵理	後期実習	・ ・ ・	149		

1400950	嗜好と調理実習	谷口 美津子	後期	...	151
1400960	嗜好と調理実習	奥村 万寿美	前期	...	153
1400991	疾病の成り立ち	矢野 仁康	前期	...	155
1401001	疾病の成り立ち	矢野 仁康	前期	...	157
1401170	社会福祉概論	頼尊 恒信	後期	...	159
1401400	食品衛生学	遠藤 弘史	前期	...	161
1401410	食品衛生学実験	遠藤 弘史	後期集中	...	163
1401420	食品学総論	佐野 光枝	前期	...	165
1401430	食品加工実習	佐野 光枝	後期実習	...	167
1401440	食品基礎実験	中井 直也	後期	...	169
1401450	食品機能科学	佐野 光枝	後期	...	171
1401460	食品機能科学実験	佐野 光枝	後期集中	...	173
1401470	食品の調理と加工	遠藤 弘史	前期	...	175
1401480	食品微生物学		前期	...	177
1401540	心理学基礎	谷口 友梨	前期	...	179
1401541	スポーツ栄養学	中井 直也	後期	...	181
1401542	生活栄養論演習	a 学科教員	前期	...	183
1401544	生活栄養論演習	b 学科教員	後期	...	185
1401546	生活栄養論演習	学科教員	後期	...	187
1401560	生活経営論/	山田 歩	後期	...	189
1401730	生体の構造と機能	矢野 仁康	後期	...	191
1401740	生命科学と人間	福渡 努	後期	...	193
1401781	専門外書講義	桑原 頌治	後期	...	195
1401811	卒業研究・論文	(生活栄養) 学科教員	前期研究	...	197
1401815	卒業研究・論文	(生活栄養) 学科教員	後期研究	...	199
1402040	地域保健臨地実習	今井 絵理	前期実習	...	201
1402280	天然物化学基礎	遠藤 弘史	前期	...	203
1402360	統計学基礎	高梨 克也	後期	...	205
1402540	人間文化論A	中井 直也	前期	...	207
1402550	人間文化論B	櫻井 悟史	後期	...	209
1402560	人間文化論C	宮本 雅子	後期	...	211
1402750	病態生理学実習	矢野 仁康	後期実習	...	213
1402761	疾病の成り立ち	矢野 仁康	後期	...	215
1402990	分子生物学基礎	佐野 光枝	前期	...	217
1403130	臨床栄養学	辰巳 佐和子	後期	...	219
1403140	臨床栄養学	辰巳 佐和子	前期	...	221
1403141	臨床栄養学	辰巳 佐和子	後期	...	223
1403151	臨床栄養学実習	辰巳 佐和子	後期実習	...	225
1403152	臨床栄養学実習	辰巳 佐和子	前期実習	...	227
1403160	臨床栄養活動論	辰巳 佐和子	後期	...	229
1403170	臨床栄養臨地実習	辰巳 佐和子	前期実習	...	231
1403180	臨床栄養臨地実習	辰巳 佐和子	前期実習	...	233
1403200	臨地実習事前事後指導	辰巳 佐和子	前期実習	...	235

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	木村 紀子
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を伸ばすことである。

到達目標

- (1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
- (2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
- (3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
- (4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
- (5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、新品(オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの)を購入しておき、必ず初回授業に持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	木村 紀子
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を学ぶことである。

到達目標

- (1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
- (2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
- (3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
- (4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
- (5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、前期に新品(オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの)を購入して使用していたものを、引き続き初回授業から使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	Matthew Thornton
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familiarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	Matthew Thornton
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familiarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

デザインについて英語でコミュニケーションできるように練習します。

英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)があります。期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

学期末に英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません、自分で管理してください)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストが絶版のためプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	This Means This, This Means That Second Edition: A User's Guide to Semiotics	Sean Hall	Laurence King Publishing	9781856697354
2				
3				

テキストとして使用する書籍のKindle版です。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

デザインについて英語でコミュニケーションできるように練習します。

英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)があります。期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

学期末に英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません、自分で管理してください)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストが絶版のためプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	This Means This, This Means That Second Edition: A User's Guide to Semiotics	Sean Hall	Laurence King Publishing	9781856697354
2				
3				

テキストとして使用する書籍のKindle版です。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度 (授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど) の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない) 2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	
3	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画								
回数	テーマ	概要				予習 / 復習		
第1回	ガイダンス/映画 Roman Holiday(1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など				90分	指定された教科書を手にしておく ガイダンスの内容を理解して次回の	45 45
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し	
担当者から								
TOEIC受験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりと英語力を身につけてください。								

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	
3	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/映画 Roman Holiday(1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など				90分	指定された教科書を手にしておく ガイダンスの内容を理解して次回の
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
TOEIC受験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりと英語力を身につけてください。							

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	森田 真
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業では、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの英語の4技能の向上を目指します。コミュニケーションは身近なトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の考えや意見を述べることや相手の話を理解し質問をする練習をします。また、英語的な表現で自分の考え、意見が述べられるように英作文を行い、その作文を基に会話を進めていきます。そして、基礎文法をしっかりと身につけて英語の理解力をのばします。さらにスキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、CDとそのスクリプトを使ったリスニング練習も行います。

到達目標

- (1) 日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
- (2) 英文読解の方法を知り、英文が速く正確に読めるようになる。
- (3) 基礎文法をしっかりと身につけて、正しい文法で文章を書くことができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30	英作文のレポート (15%) や小テスト (15%) などの課題。
上記以外	20	授業に参加する積極的な態度 (授業内の発言やペアワーク・グループワークに自発的に取り組む)

授業の3分の1以上 (5回以上) 欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NEW CONNECTION BOOK 2	Teruhiko Kadoyama etc	SEIBIDO	9784791934126
2				
3				

教科書は必ず購入してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	森田 真
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業では、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの英語の4技能の向上を目指します。コミュニケーションは身近なトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の考えや意見を述べることや相手の話を理解し質問をする練習をします。また、英語的な表現で自分の考え、意見が述べられるように英作文を行い、その作文を基に会話を進めていきます。そして、基礎文法をしっかりと身につけて英語の理解力をのばします。さらにスキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、CDとそのスクリプトを使ったリスニング練習も行います。

到達目標

- (1) 日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
- (2) 英文読解の方法を知り、英文が速く正確に読めるようになる。
- (3) 基礎文法をしっかりと身につけて、正しい文法で文章を書くことができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30	英作文のレポート (15%) や小テスト (15%) などの課題。
上記以外	20	授業に参加する積極的な態度 (授業内の発言やペアワーク・グループワークに自発的に取り組む)

授業の3分の1以上 (5回以上) 欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NEW CONNECTION BOOK 2	Teruhiko Kadoyama etc	SEIBIDO	9784791934126
2				
3				

教科書は必ず購入してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)							担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO	
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習			
ナンバリング番号	101ENG104									

授業計画										
回数	テーマ	概要						予習 / 復習		
第1回	Unit 8	Bringing Light <Science>						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第2回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第3回	Unit 9	A Family Business <Work>						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第4回	Unit 10	Heston We Have a Problem <Food>						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第5回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第6回	Unit 11	Cops on the Job <Work>						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第7回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第8回	Mid-term Test	Essay-writing						1時	Units and materials covered. Not applicable 1	
第9回	Unit 12	Things I've Learned About Failure <Life>						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第10回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第11回	Unit 13	Powwow: A Gathering for Native Americans						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第12回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第13回	Unit 14	Wildlife Filmmaker <Work>						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第14回	Activities on previous unit	Individual or pair/group tasks, discussions, debates, and presentations.						1時	An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
第15回	Final presentations and course wrap-up	Final presentations and course wrap-up							An announcement will be made in 1 Parts students do not understand 1	
担当者から										
1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.										

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the spring semester covers the following topics: Hometown, music, books, and family.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
- (2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
- (3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

We will continue to develop the skills that were practiced in the spring semester.

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the fall semester covers the following topics: Travel, school, food, and friends.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
- (2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
- (3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to build skills and confidence in students to use English in social, research and work situations. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will: (1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally, (2) be able to use new vocabulary in speaking and writing. (3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class. (4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A solo presentation and a 2-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to extend the conversational skills used in English IIA. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will:

- (1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally,
- (2) be able to use new vocabulary in speaking and writing.
- (3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class.
- (4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A pair discussion and a 3-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習(予習・復習)をしっかりとやってそれぞれの授業の学習内容をしっかりと理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度(授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	LiBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画								
回数	テーマ	概要					予習 / 復習	
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など					90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかりと理解し
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ						指定された小テストの範囲をしっかりと小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から								
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力								

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習(予習・復習)をしっかりとやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度(授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	LiBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画								
回数	テーマ	概要				予習 / 復習		
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など				90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかりと理解し	45 45
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ					指定された小テストの範囲をしっかりとテストの内容、及び授業で学習し	
担当者から								
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力								

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標 に関し、2回小テストを行う。 到達目標 と に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えることで予習をしっかり行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer Third Edition Level 2 Student Book Test Only	David Bohlke他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iおよび英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標 に関し、2回小テストを行う。 到達目標 と に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してこよう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer Third Edition Level 2 Student Book Text Only	David Bohlke他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.
- 2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.
- 2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In the continuation to this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
- (2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
- (3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-back-into-the-swing-of-things activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
第2回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Look over unit 8	1
第3回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
第4回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	All unit 8 materials	2
第5回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	Prepare discussion materials	3
第6回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Unit 8 topics	2
第7回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
第8回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	All unit 9 materials	2
第9回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	Prepare discussion materials	3
第10回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Unit 10 topics	2
第11回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
第12回	Unit 13	Theme: Manga	90	All unit 10 materials	2
第13回	Unit 13	Theme: Manga	90	Prepare discussion materials	3
第14回	Unit 14	Theme: Karaoke	90	Unit 12 topics	2
第15回	Unit 14 - Final class	Theme: Karaoke Short presentations	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 11 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 12 topics	2
				Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 12 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 13 topics	2
				Prepare last vocabulary quiz	3
				All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In the continuation to this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-back-into-the-swing-of-things activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
第2回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Look over unit 8	1
第3回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
第4回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	All unit 8 materials	2
第5回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	Prepare discussion materials	3
第6回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Unit 8 topics	2
第7回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
第8回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	All unit 9 materials	2
第9回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	Prepare discussion materials	3
第10回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Unit 10 topics	2
第11回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
第12回	Unit 13	Theme: Manga	90	All unit 10 materials	2
第13回	Unit 13	Theme: Manga	90	Prepare discussion materials	3
第14回	Unit 14	Theme: Karaoke	90	Unit 12 topics	2
第15回	Unit 14 - Final class	Theme: Karaoke Short presentations	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 11 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 12 topics	2
				Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 12 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 13 topics	2
				Prepare last vocabulary quiz	3
				All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Group Presentations 25% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Supplied Material			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Group Presentations 25% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Supplied Material			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと考えております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらってもあります。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと考えております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらってもあります。後期はLesson 20からLesson 30を扱います。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
- 2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as technology, ecology, fashion, and psychology.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
- (2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
- (3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を 5 回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30 分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3 回の遅刻で 1 回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

This course is intended to continue to develop the skills practiced in the spring semester.

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as art, ecology, extreme sports, and culture.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
- (2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
- (3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		定期試験はせず、出席と課題等によって評価します。
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。

出席状況と提出課題によって評価します。

授業外学習

図書館の書籍によって、事前に予習復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

教科書は毎回、持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布します。

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本講では今後高年次において開講される講義や演習で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つ情報処理技術、すなわちワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。
キーワード：電子メール、情報倫理、知的財産権、著作権、図書検索、Word、Excel

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各到達目標に関連する課題を課す。(1)は10%、(2)、(3)はそれぞれ20%、(4)、(5)はそれぞれ25%で評価する。

授業外学習

進度に応じ宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	978-4-407-34833-0
2				
3				

初回講義には入学時に配布された「アカウント情報通知書」を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インターネット社会を生きるための情報倫理	情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ	実教出版	978-4-407-33031-1
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報科学概論(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的な手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的な手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	人間探求学(生活栄養)						担当教員	学科教員/福渡 努/佐野 光枝/ 矢野 仁康/奥村 万寿美/遠藤 弘史/ 中井 直也/今井 絵理/東田 一彦/
講義コード	1150370	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	101HUM101							

授業概要

この講義では、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。まず、大学での生活および学びに必要な基本事項を修得するための導入教育を実施する。大学で学ぶことの意義、人生における位置づけについて考えるために、少人数グループ(6名程度)に分かれて各教員と対話を行う。自発的・積極的な学習態度、資料・調査結果をまとめる能力、プレゼンテーション能力を培うために、課題テーマについてグループワーク、プレゼンテーションを行う。

到達目標

- (1) 大学での生活、学びに必要な基本事項について、説明できるようになる。
- (2) 大学で学ぶことの意義、人生における位置づけについて、説明できるようになる。
- (3) 大学の施設・設備を利用して、調査を行い、資料を作成できるようになる。
- (4) グループワークにおいて、自分の役割を理解し、グループの目的を達成するための行動を取ることができるようになる。
- (5) 聴衆の理解しやすい資料作成、発表、説明、質疑応答ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	到達目標(1)について、レポート課題を課す(20%)
上記以外	80	到達目標(2)について、研究室訪問における質疑応答で評価する(20%) 到達目標(3)について、テーマ学習における資料、説明、質疑応答で評価する(20%) 到達目標(4)について、テーマ学習における資料、説明、質疑応答で評価する(20%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	運動と健康						担当教員	東田 一彦
講義コード	1400100	単位数	2	開講期	前期	授業方法	実	
ナンバリング番号	234NUT341							

授業概要

運動が健康に及ぼす影響を科学的に理解する。身体活動が健康とどういう点でかわりがあるかを科学的に説明する。一過性の運動によって起こる一時的変化や習慣的な運動によって起こる適応現象のメカニズムを明らかにするとともに、運動の必要性や運動と健康の関係について学ぶ。とくに、健康の維持・増進に役立つ運動生理学知見に焦点を絞り、運動と栄養摂取、運動とエネルギーの発生および変換、運動と筋・神経機能、運動と呼吸・循環機能、運動と環境適応、運動不足と生活習慣病、運動とエネルギー消費量および運動処方といった内容で行う。

到達目標

- (1) 運動の必要性や運動と健康の関係について理解する。
- (2) 運動と種々の生体応答との関連を理解する。
- (3) 一過性の運動によって起こる一時的変化や習慣的な運動によって起こる適応現象のメカニズムを理解する。
- (4) 運動処方の進め方や内容を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	10	到達目標(1)～(4)に対して評価する A:よく理解できている B:理解できている
上記以外	90	到達目標(1)～(4)に対して、到達度テストで評価する A:よく理解できている B:理解できている

5回以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養・スポーツ系の運動生理学	樋口満	南江堂	978-4-524-23797-5
2				
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養生化学、生体の構造と機能、基礎栄養学 を十分に理解していることを前提に授業を進めます

履修資格

講義名	栄養疫学論						担当教員	今井 絵理
講義コード	1400120	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT314							

授業概要

地域・集団の公衆栄養プログラム実施のためには、地域や集団の健康や栄養の実態を正しく収集し、それをデータ解析し、問題点を明らかにすることが重要である。
そこでプラン作りのなる基礎となるアセスメントとしての栄養状態、健康状態の実態把握の方法としての栄養疫学の役割、栄養疫学調査の方法、食事摂取法の種類と解釈、栄養疫学で必要となる統計解析について学ぶ。

到達目標

- (1) 疫学の基本的な考え方と目的について説明できる。
- (2) 信頼度の高い疫学情報の収集と評価について説明できる。
- (3) 記述疫学、分析疫学、介入研究の基礎的な方法について説明できる。
- (4) 疫学に使用する指標について説明できる。
- (5) 疫学研究（食事調査を含む）と倫理について説明できる。
- (6) 記述疫学の方法と健康情報の収集および疫学指標について理解できる。
- (7) 疫学に使用する指標（相対危険度、オッズ比、寄与危険度等）について理解し、計算できる。
- (8) 栄養疫学に関する英文学術論文を検索し、必要な論文を抽出することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標について、定期試験（論述式、穴埋め、選択式）を行う。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標について授業で進んだ内容までで中間テスト（論述式、穴埋め、選択式）を行う。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	健康・栄養科学シリーズ 公衆栄養学改訂第7版	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所	南江堂	978-4-524-22527-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

公衆栄養学を履修していることが必須。

履修資格

講義名	栄養教育論						担当教員	桑原 頌治
講義コード	1400151	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	234NUT361							

授業概要

栄養教育の歴史の変遷より栄養教育の必要性と重要性を理解し、栄養教育の対象のニーズに応じた行動科学理論モデルを習得する。カウンセリング技法を理解し、栄養教育場面での利用へ結び付ける

到達目標

(1) 栄養教育の歴史の変遷と現状が説明できる。(2) 諸外国の栄養問題と栄養教育の状況を説明できる。(3) 行動科学理論・モデルを理解し、全体像を説明できる。(4) カウンセリング技法について説明できる。(5) 理論を用いた教育場면을説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	基本的に定期試験のみで評価をします。課題を課す場合は、その都度指示をします。
レポート課題		
上記以外		

授業時間数の3分の一以上欠席したものは評価対象としない。

授業外学習

理論やモデル、技法の使用事例について予習・復習、考察をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論 改訂第5版	武見ゆかり/足立淑子/木村典代/ 林英美 編集	南江堂	978-4-524-22677-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	これからの栄養教育論	足立・衛藤・佐藤監訳	第一出版	9784804113210
2	ヘルス21栄養教育・栄養指導論	大野・辻編	医歯薬出版株式会社	
3				

授業中にプリント等を配布する

前提学力等

履修資格

講義名	栄養教育論						担当教員	桑原 頌治
講義コード	1400151	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	234NUT361							

授業計画							
回数	テーマ	概要		予習 / 復習			
第1回	栄養教育の概要	栄養教育の定義、目的、歴史的背景	2	栄養教育の概要 栄養教育の定義、目的、歴史的背景	2		
第2回	栄養教育の概要	栄養教育の対象と機会、法的根拠	2	栄養教育の概要 栄養教育の対象と機会、法的根拠	2		
第3回	国民の栄養と食事の現状と課題	国民の栄養と食事の現状とヘルスプロモーション、ほかの生活習慣の関連性	2	国民の栄養と食事の現状と課題 栄養と食事の現状とヘルスプロモ	2		
第4回	栄養教育の国際的動向	諸外国の栄養教育の課題と取り組み	2	栄養教育の国際的動向 諸外国の栄養教育の課題と取り組み	2		
第5回	行動科学理論とモデル	課題に応じた理論の選択と展開、栄養教育マネジメントにおける理論の活用	2	行動科学理論とモデル 行動科学理論とモデル	2		
第6回	行動科学理論とモデル	刺激-反応理論、ヘルスピリーフモデル、トランスセオレティカルモデル	2	行動科学理論とモデル 刺激-反応理論、ヘルスピリーフモ	2		
第7回	行動科学理論とモデル	計画的行動理論、社会的認知理論・社会的学習理論	2	行動科学理論とモデル 計画的行動理論、社会的認知理論・	2		
第8回	行動科学理論とモデル	ストレスマネジメント、ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポート、コミュニティオーガニゼーション	2	行動科学理論とモデル ストレスマネジメント、ソーシャル	2		
第9回	行動科学理論とモデル	プリシード・プロシードモデル、普及理論、ソーシャルマーケティング	2	行動科学理論とモデル プリシード・プロシードモデル、普	2		
第10回	栄養カウンセリングの方法	栄養カウンセリングの基本的考え方、栄養カウンセラーの態度と倫理	2	栄養カウンセリング 栄養カウンセリングの基本的考え	2		
第11回	栄養カウンセリングの方法	栄養カウンセリング技法	2	栄養カウンセリングの方法 栄養カウンセリング技法	2		
第12回	栄養カウンセリングの方法	栄養カウンセリング技法と応用	2	栄養カウンセリングの方法 栄養カウンセリング技法と応用	2		
第13回	理論的基礎の展開	組織づくり・地域づくりへの展開（自助集団、組織づくり・ネットワークづくり、ソーシャルキャピタル）	2	理論的基礎の展開 組織づくり・地域づくりへの展開	2		
第14回	食環境づくりとの関連	食環境の概念、食物へのアクセスと情報へのアクセス	2	食環境づくりとの関連 食環境の概念、食物へのアクセスと	2		
第15回	まとめ	行動科学理論とモデル、栄養カウンセリングの方法を中心にまとめ	2	これまでの振り返り 行動科学理論とモデル、栄養カウ	2		
担当者から							

講義名	栄養教育論						担当教員	桑原 頌治
講義コード	1400152	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	334NUT362							

授業概要

栄養教育のマネジメントサイクルについて理解する。栄養教育を行う上で必要なアセスメント方法について学修する。対象に合った栄養教育目標の設定方法について学修する。栄養教育の評価方法を学修する。栄養教育プログラムの作成と実施の実際を理解する。

到達目標

(1) 栄養マネジメントの概要を修得する(2) 栄養アセスメント方法を理解する(3) 対象者に合った栄養教育目標の設定できる(4) 栄養教育の評価方法を説明できる(5) 対象者に合った栄養プログラムを作成できる(6) 実際にどのような場所でどのようなプログラムを実施しているかを把握する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	基本的に定期試験のみで評価をします。課題を課す場合は、その都度指示をします。
レポート課題		
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論 改訂第5版	武見ゆかり/足達淑子/木村典代	南江堂	9784524226771
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じてプリントを配布する

前提学力等

栄養教育論 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	栄養教育論							担当教員	桑原 頌治	
講義コード	1400152	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義			
ナンバリング番号	334NUT362									

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	栄養マネジメントの概要	栄養マネジメントの流れ					2	栄養マネジメントの概要		2	
								栄養マネジメントの流れ		2	
第2回	栄養アセスメントの指標	栄養アセスメントの方法					2	栄養アセスメントの指標		2	
								栄養アセスメントの方法		2	
第3回	栄養アセスメントの指標	情報収集の方法					2	栄養アセスメントの指標		2	
								情報収集の方法		2	
第4回	栄養アセスメントの指標	行動記録、行動分析					2	栄養アセスメントの指標		2	
								行動記録、行動分析		2	
第5回	栄養教育の目標決定	目標決定の意義と方法 学習目標、行動目標、結果目標					2	栄養教育の目標		2	
								目標決定の意義と方法		2	
第6回	栄養教育プログラムの作成	計画の作成(全体計画、プログラム案、学習指導案) 実施のための設定項目					2	栄養教育プログラムの作成		2	
第7回	栄養教育プログラムの作成	実施者の設定とトレーニング					2	栄養教育プログラムの作成		2	
								栄養教育における実施者の設定とト		2	
第8回	栄養教育プログラムの作成	学習形態の選択					2	栄養教育プログラムの作成		2	
								栄養教育の学習形態とその選択		2	
第9回	栄養教育プログラムの作成	教材の選択と作成					2	栄養教育プログラムの作成		2	
								栄養教育の教材とその選択、および		2	
第10回	栄養教育プログラムの実施	コミュニケーション技術					2	栄養教育プログラムの実施		2	
								栄養教育プログラムにおけるコミュ		2	
第11回	栄養教育プログラムの実施	プレゼンテーション技術					2	栄養教育プログラムの実施		2	
								栄養教育プログラムにおけるプレゼ		2	
第12回	栄養教育の評価	栄養教育の評価の意義、評価基準と指標					2	栄養教育の評価		2	
								栄養教育の評価の意義、評価基準と		2	
第13回	栄養教育の評価	経過評価、形成的評価、影響評価、結果評価、総合評価、経済的評価					2	栄養教育の評価		2	
								栄養教育プログラムの各種評価		2	
第14回	実際の栄養教育プログラム	実際の栄養教育プログラム					2	栄養教育プログラムの概要		2	
								実際の栄養教育プログラム		2	
第15回	まとめ	まとめ					2	これまでの振り返り		2	
								栄養教育マネジメントのまとめ		2	
担当者から											

講義名	栄養教育論 (カウンセリング論演習を含む)						担当教員	桑原 頌治
講義コード	1400153	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	334NUT363							

授業概要

栄養教育にかかわる理論とモデルについて、具体的な活用事例とともに学修する。栄養教育にかかわる理論とモデルについて、具体的な活用事例とともにロールプレイングを実施し、理論を理解する。カウンセリングの意義と特性を理解し、カウンセリング技法を使った演習形式の実践を行う。各ライフステージ・ライフスタイル別の栄養課題を理解し、課題解決方法を提案できる。

到達目標

(1) 行動科学の理論とモデルの概要および具体的活用方法を実践できる。(2) 各ライフステージ別の特性および栄養課題を説明できる(3) 各ステージ別の栄養教育方法を提案できる。(4) 栄養教育関連組織の概要を説明できる。(5) 食環境づくりの現状と課題を説明できる。(6) 行動変容を目的としたカウンセリング技法を実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	栄養教育論 ~ の範囲で定期試験を行い、基本的な知識や理解を評価します。
レポート課題	35	個人ないしグループで課題に取り組み、その内容を評価します。
上記以外	15	プレゼンテーションや演習、グループワークなどに対して取り組む態度を評価します。発言回数、積極性など

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養教育論	中山・宮崎編	化学同人	
2	栄養教育論実習	片井・川上・久保田編	講談社	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養カウンセリング論	赤松・永井著	化学同人	978-4759816143
2	ヘルス21栄養教育・栄養指導論	大野・辻編	医歯薬出版株式会社	
3				

前提学力等

栄養教育論 および栄養教育論 を履修済であることが望ましい

履修資格

講義名	栄養教育論 (カウンセリング論演習を含む)						担当教員	桑原 頌治
講義コード	1400153	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	334NUT363							

授業計画								
------	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	テーマ	概要	予習 / 復習					
第1回	カウンセリング論演習	行動変容に必要な技法の実際	2	栄養カウンセリング	2	行動変容に必要な技法の実際	2	
第2回	カウンセリング論演習	栄養カウンセリングの実際 カウンセリングの流れ(アセスメント、行動目標の設定)準備性に 応	2	栄養カウンセリング	2	栄養カウンセリングの実際	2	
第3回	栄養カウンセリング論 演習	栄養カウンセリングの実際 カウンセリングの流れ(アセスメント、行動目標の設定)準備性に 応	2	栄養カウンセリング	2	栄養カウンセリングの実際	2	
第4回	栄養カウンセリング論 演習	グループカウンセリングの実際	2	栄養カウンセリング	2	グループカウンセリングの実際	2	
第5回	ライフステージ別栄養 教育の実際	妊娠授乳期の栄養教育	2	ライフステージと栄養	2	妊娠授乳期の栄養教育	2	
第6回	ライフステージ別栄養 教育の実際	乳幼児期の栄養教育	2	ライフステージと栄養	2	乳幼児期の栄養教育	2	
第7回	ライフステージ別栄養 教育の実際	学童・思春期の栄養教育	2	ライフステージと栄養	2	学童・思春期の栄養教育	2	
第8回	ライフステージ別栄養 教育の実際	成人期の栄養教育	2	ライフステージと栄養	2	成人期の栄養教育	2	
第9回	ライフステージ別栄養 教育の実際	高齢期の栄養教育	2	ライフステージと栄養	2	高齢期の栄養教育	2	
第10回	傷病者の栄養教育	傷病者の栄養教育	2	傷病者の栄養教育	2	傷病者の栄養教育	2	
第11回	傷病者の栄養教育	傷病者の栄養教育	2	傷病者の栄養教育	2	傷病者の栄養教育	2	
第12回	障害者の栄養教育	障害者の栄養教育	2	障害者の栄養教育	2	障害者の栄養教育	2	
第13回	職域における栄養教育	栄養教育関連組織	2	職域における栄養教育	2	栄養教育関連組織	2	
第14回	職域における栄養教育	栄養教育関連組織のコーディネーターとしての管理栄養士の役割	2	職域における栄養教育	2	栄養教育関連組織のコーディネーター	2	
第15回	諸外国における栄養教育	諸外国における栄養教育の実際 まとめ	2	諸外国における栄養教育	2	諸外国における栄養教育の実際	2	

担当者から								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

講義名	栄養教育論実習						担当教員	桑原 頌治
講義コード	1400160	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	334NUT364							

授業概要

栄養アセスメント論で学んだ対象者の行動変容を促し、対象者の学習を支援できることを目的とした栄養教育の基本的・専門的知識や技術を実際の栄養教育に、いかに活かしていくかをライフステージ、ライフスタイル別に、その特徴や顕在化しやすい栄養問題に応じた栄養教育の実際のあり方を学習する。個人や集団の栄養状態の評価判定でき、栄養プログラムが作成できる。

到達目標

- (1) 栄養教育に必要な知識と技術を説明できる。
- (2) 各ライフステージ・ライフスタイルの特徴にあった栄養教育が出来る。
- (3) 日本における栄養教育の実際を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	実習中に課す、個人およびグループごとの提出課題を評価する。 またその課題に取り組む態度を評価する。
上記以外	50	提出課題だけでなく、個人およびグループごとに発表や模擬栄養指導を実施し、これを評価する。 なお、受講生自身や受講生同士、ティーチングアシスタントの評価も考慮して評価を行う。

5分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

グループ課題への取り組みは、各グループごと積極的に分担して行うこと。
特定の受講生に過度に依存することが無いように注意すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NEXT栄養教育論実習第2版	片井・川上・久保田	講談社	978-4-06-155381-1
2				
3				

初回に必ず持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養教育論Iを履修済であることが望ましい

履修資格

講義名	栄養教育論実習							担当教員	桑原 頌治
講義コード	1400160	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習		
ナンバリング番号	334NUT364								

授業計画										
回数	テーマ	概要					予習 / 復習			
第1回	はじめに、栄養アセスメント	実習概要説明 対象者の食事調査、身体計測					2		0.	
第2回	栄養アセスメント	対象者の食事調査、身体計測、臨床審査					2		0.	
第3回	栄養教育場面でのプランの作成	対象者の栄養課題解決に向けたプラン作成					2		0.	
第4回	集団教育の実際	討議方法の特徴 (バスセッション・ブレインストーミング、パネルディスカッション)					2		0.	
第5回	集団教育の実際	3分間スピーチ					2		0.	
第6回	栄養教育での情報収集法	コンピューターを活用した情報収集					2		0.	
第7回	栄養教育媒体作成	プレゼンテーションソフトを使った栄養教育媒体の作成					2		0.	
第8回	栄養教育のための食事計画	栄養量を食事へ展開					2		0.	
第9回	行動科学理論を生かした模擬栄養教育	保健指導場面での栄養教育をロールプレイ					2		0.	
第10回	行動科学理論を生かした模擬栄養教育	保健指導場面での栄養教育をロールプレイ					2		0.	
第11回	集団指導	地域、福祉、臨床、学校における集団指導をロールプレイ アセスメント・問題点の抽出					2		0.	
第12回	集団指導	地域、福祉、臨床、学校における集団指導をロールプレイ 指導案作成、媒体作成等					2		0.	
第13回	集団指導	地域、福祉、臨床、学校における集団指導をロールプレイ 指導案作成、媒体作成等					2		0.	
第14回	集団指導	地域、福祉、臨床、学校における集団指導をロールプレイ 指導案作成、媒体作成等					2		0.	
第15回	集団指導	各班での発表、評価					2		0.	
担当者から										

講義名	栄養生化学						担当教員	福渡 努
講義コード	1400190	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	134NUT121							

授業概要

生命活動を維持するために、細胞内では栄養素を原料としてエネルギーの獲得と利用、生体構成物質や生理活性物質の合成と分解などさまざまな反応が進行している。これらの反応は数千もの化学反応から成り立っている。生化学とは、化学的手段によって生命現象を解明し、栄養学において根幹をなす重要な学問である。

栄養学を实践する際には、対象者の身体状況に応じて、どの栄養素がどの反応経路で代謝、利用されているのかを踏まえたいうで、栄養管理を行うことが求められる。そのため、これから栄養学を学んでいくうえで、まず、摂取した栄養素が代謝、利用される一連の反応経路に関する基本知識を身に付ける必要がある。本講義では、エネルギー産生に関する反応経路を取り上げ、各経路の概略、生理的意義、調節機構について解説する。さらに、それらの経路と同化、異化との関わりについて解説する。

到達目標

- (1) 代謝（同化、異化）について、要点をまとめ、分かりやすく概説できるようになる。
- (2) エネルギー産生に関する反応経路の概略、生理的意義、調節機構について、要点をまとめ、分かりやすく説明できるようになる。
- (3) 生体構成物質や生理活性物質の合成および分解に関する反応経路、その機能、調節機構について、要点をまとめ、分かりやすく説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) について論述式試験を行う (10%) 到達目標 (2) について論述式試験を行う (20%) 到達目標 (3) について論述式試験を行う (30%)
レポート課題		
上記以外	40	到達目標各項目について、復習小テスト (30%) およびレスポンスシート (10%) を課す。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

- ・授業計画にしたがい、教科書の該当部分を読んでから講義に臨むこと。
- ・講義後の復習として、講義で指示したポイントを意識して、教科書の該当部分を読み、確実に理解を深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マッキー生化学 第6版	市川厚 監修	化学同人	9784759819434
2	生化学	石堂一巳・福渡努 編集	南江堂	9784524241828
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

履修資格

講義名	栄養生化学						担当教員	福渡 努
講義コード	1400190	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	134NUT121							

授業計画								
回数	テーマ	概要					予習/復習	
第1回	講義の目的と概要	本講義のねらい、趣旨、学習のしかたについて概説する。					2	シラバスを熟読し、内容を理解して2 シラバス、教科書を熟読し、講義の2
第2回	化合物の構造と命名、 酵素の種類と性質	化合物の構造に基づいた命名法、酵素の種類および性質について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第3回	糖質代謝の概要、解糖系 の概要	糖質代謝および解糖系の概要について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第4回	解糖系	解糖系によるグルコース代謝の反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第5回	クエン酸回路	クエン酸回路の反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第6回	電子伝達系	電子伝達系の反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第7回	酸化的リン酸化	酸化的リン酸化によるATPの合成反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第8回	グリコーゲンの合成と 分解	グリコーゲンの合成と分解に関する反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第9回	糖新生経路	糖新生経路の反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第10回	ペントースリン酸経路	ペントースリン酸経路によるグルコース代謝の反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第11回	糖代謝の調節	グルコースの利用に関する各経路の調節機構について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第12回	脂質の酸化	酸化による脂肪酸の酸化反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第13回	ケトン体の合成と利用	肝臓においてアセチルCoAからケトン体を合成する反応、非肝臓組織においてケトン体を利用する反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第14回	脂肪酸合成	アセチルCoAから脂肪酸の合成反応について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
第15回	代謝の環境応答	食後および絶食時のエネルギー代謝産生栄養素の代謝変動について解説する。					2	教科書の該当ページを読み、内容を2 講義の内容をノートにまとめ直し、2
担当者から								

講義名	栄養生化学実験						担当教員	福渡 努 / 畑山 翔
講義コード	1400200	単位数	1	開講期	後期実習	授業方法	実	
ナンバリング番号	234NUT322							

授業概要

栄養学を実践するうえで、生体内で起きている複雑な代謝経路や調節機構を理解すること重要である。生化学に関する理解を深めるために、酵素の性質について調べ、血清タンパク質濃度の定量を行う。生化学分析に関する原理、生体高分子の体内での変動の実際を理解し、生化学実験に必要な基本的な技術操作を修得する。

到達目標

- (1) 栄養生化学実験を準備し、遂行できるようになる。
- (2) 実験機器・器具の原理を理解し、正しく操作することができるようになる。
- (3) 実験原理・測定方法を説明できるようになる。
- (4) 栄養生化学実験で得たデータを解析し、まとめることができるようになる。
- (5) 栄養生化学実験の内容、データに関する疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	到達目標 (3), (4), (5) についてレポート (40%) およびプレゼンテーション (質疑応答含む, 20%) で評価する
上記以外	40	到達目標 (1) について、実験ノートおよび手技の観察で評価する (30%) 到達目標 (2) について、手技の観察で評価する (10%)

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

予習では、以下の項目を行うこと。
・当日の操作の手順について、実験ノートに箇条書きでまとめておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	栄養生理学・生化学実験	加藤秀夫ほか編	講談社	9784061553491
2	栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド	倉沢新一ほか	化学同人	9784759811377
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	マッキー生化学 第6版	市川厚 監修	化学同人	9784759819434
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

履修資格

講義名	栄養生理学実習						担当教員	矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 田中 大也
講義コード	1400210	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT346							

授業概要

人体模型の観察やラットの解剖、また、循環・呼吸・尿・感覚に関する実験を通して生体の構造と機能について理解する。顕微鏡による病理組織標本の観察により、疾病の病理病態を理解する。

到達目標

人体模型の観察やラットの解剖を通して、生体の構造について理解できる
 循環・呼吸・尿に関する実験を通して、生体の構造と機能について理解できる
 顕微鏡による病理組織標本の観察により、疾病の病理病態が理解できる
 臨床医学の実践活動に重要な人体の構造と機能について、実験を通して理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習への参加とレポートを総合して評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	栄養生理学実習						担当教員	矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 田中 大也	
講義コード	1400210	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	授		
ナンバリング番号	334NUT346								

授業計画										
回数	テーマ	概要	予習 / 復習							
第1回	オリエンテーション	本実習の進行予定の説明をおこなう	5							
第2回	人体模型を用いた生体構造の観察	人体の構造を知る為、人体模型を観察しスケッチを行う	5							
第3回	ラットの解剖	ラットの解剖を通じて生体の構造を理解する	5							
第4回	血圧・脈拍測定	リパロッチの血圧測定計及び自動血圧計を用いて血圧・脈拍測定を行いその手技と意義を理解する	5							
第5回	尿検査（定性、沈渣、タンパク、クレア）	自身の尿を用いて尿試験紙法とクレアチニンの定量を行い尿検査の原理と意味を理解する	5							
第6回	味覚の測定	甘味・苦味・塩味・酸味の閾値測定をおこなう	5							
第7回	触覚の測定	皮膚感覚の部位による精度と温度による変化の測定をおこなう	5							
第8回	顕微鏡による病理組織標本の観察	病理組織標本の顕微鏡観察を行い、疾病の病理病態を理解する	5							
第9回	まとめ	実習結果のまとめ方、およびレポート提出について解説する	5							
担当者から										

講義名	応用栄養学						担当教員	今井 絵理
講義コード	1400240	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	234NUT321							

授業概要

本授業は、日本人の食事摂取基準（2020年版）（以下、食事摂取基準）に示された数値のもつ意味を正しく理解すること、食事摂取基準で用いられる指標の特徴を理解すること、個人や集団の食事改善のために食事摂取基準を活用する際の留意点を理解することを目指す。

到達目標

到達目標1：日本人の食事摂取基準（2020年版）」に示された数値のもつ意味を正しく理解できる。
 到達目標2：日本人の食事摂取基準（2020年版）」で用いられる指標の特徴を理解でき、説明することができる。
 到達目標3：個人や集団の食事改善のために「日本人の食事摂取基準（2020年版）」を活用する際の留意点を理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標について、定期試験（論述式、穴埋め、選択式）を行う。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標について授業で進んだ内容までで中間テスト（論述式、穴埋め、選択式）を行う。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本人の食事摂取基準（2020年版）	監修 伊藤 貞嘉、佐々木 敏	第一出版	9784804114088
2	応用栄養学 第5版	福渡 努 編 岡本 秀己 編	化学同人	9784759816464
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養生化学、生体の構造と機能、基礎栄養学（ 、 ）を履修していること。

履修資格

講義名	応用栄養学	担当教員	今井 絵理
講義コード	1400240	単位数	2
	開講期	前期	授業方法
ナンバリング番号	234NUT321	授	

授業計画			
回数	テーマ	概要	予習 / 復習
第1回	講義の目的と概要 (進め方について)	講義の目的と概要 (進め方について)、説明する。	2 日本人の食事摂取基準2020年版を読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第2回	食事摂取基準の意義	食事摂取基準の意義について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第3回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (総論の要点を理解する) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第4回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (指標を理解する) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第5回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (指標を理解する) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第6回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (指標を理解する: エネルギー) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第7回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (指標を理解する: 栄養素) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第8回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (指標を理解する: 栄養素) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第9回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (指標を理解する: 栄養素) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第10回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (食事摂取基準を理解する: 対象特性) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第11回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (食事摂取基準を活用する) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第12回	食事摂取基準の基礎的理解	食事摂取基準の基礎的理解 (食事摂取基準を活用する) について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第13回	栄養マネジメント	栄養マネジメントについて解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第14回	栄養マネジメント	栄養マネジメントについて解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
第15回	成長・発達・加齢	成長・発達・加齢について解説する。	2 授業内容の教科書該当ページを読む 授業中の板書ノートを整理し、板書
担当者から			

講義名	応用栄養学						担当教員	今井 絵理
講義コード	1400250	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT323							

授業概要

「基礎栄養学」を踏まえて、対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を知る。なお、本科目は「基礎栄養学」、「応用栄養学」と一体化して栄養学の概要を網羅するよう講義設定している。

到達目標

到達目標 1：対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方の原理を理解できる。
 到達目標 2：対象となるヒトの年齢、状態による生理の違いを理解し、それらに合わせた栄養処方を設定することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標について、定期試験（論述式、穴埋め、選択式）を行う。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標について授業で進んだ内容までで中間テスト（論述式、穴埋め、選択式）を行う。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	日本人の食事摂取基準（2020年版）	監修 伊藤 貞嘉、佐々木 敏	第一出版	9784804114088
2	応用栄養学 第5版	福渡 努 編 岡本 秀己 編	化学同人	9784759816464
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

栄養学の基礎知識があること。
 基礎栄養学（ ）、応用栄養学 を履修していること。

履修資格

講義名	応用栄養学実習							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400260	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	授		
ナンバリング番号	334NUT345								

授業概要

生涯を心身ともに健康で過ごしていくためには、各ライフステージ・スタイルの特性に応じた栄養管理が必要である。本実習では乳児期から高齢期に至るヒトの身体状況の変化や活動の変化等に対応した栄養ケアの実際について学ぶ。科学的根拠に基づき、栄養アセスメントを行い、問題点を抽出し、対象者の特性にあった目標を立てる能力を身に付ける。

到達目標

- (1) 発育・健康維持に適した栄養補給法と補給栄養素を定めて、栄養状態の評価、栄養診断、栄養管理計画を立て、実施することができる。
- (2) 高齢者の栄養評価を実施し、QOL向上を目指した栄養評価、栄養診断、栄養管理計画を立て、実施することができる。
- (3) 成人期の生活習慣、食生活に対応した栄養評価、栄養診断、栄養管理計画を立て、実施することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外		

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業時間数の3分の1以上を欠席した者は、評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	応用栄養学実習ワークブック [第3版]		みらい	9784860155070
2	日本人の食事摂取基準(2020年版)	監修 伊藤 貞嘉、佐々木 敏	第一出版	9784804114088
3	日本食品標準成分表2020年版(八訂)			

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

応用栄養学I、応用栄養学II、嗜好と調理実習I、嗜好と調理実習IIを履修していること。

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（生活栄養）						担当教員	学科教員 / 福渡 努 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1400350	単位数	2	開講期	通年	授業方法	実	
ナンバリング番号	134NUT101							

授業概要

この実習では、琵琶湖を中心とした滋賀の食文化とそれに携わる人々について考え、理解することを目的とする。少人数グループに分かれ、課題テーマである食文化が生まれた背景、歴史、特徴、現状、課題などについて事前調査を行い、その調査結果を発表する。それぞれの関連施設を訪問し、見学を行い、説明を受けるとともに、その食文化に携わる人々の使命、やりがい、誇り、信念などについて学ぶ。事前調査、現地調査の結果を報告書にまとめる。

到達目標

- (1) グループワークにおいて、自分の役割を理解し、グループの目的を達成するための行動を取ることができるようになる。
- (2) 課題テーマの事前調査を行い、その結果を資料にまとめることができるようになる。
- (3) 聴衆の理解しやすい資料作成、発表、説明、質疑応答ができるようになる。
- (4) 現地調査で目的意識をもった質疑応答ができるようになる。
- (5) 事前調査と現地調査の結果を要点のまとめた分かりやすい報告書としてまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標 (1) について、テーマ学習、現地調査、報告書作成における資料、説明、質疑応答で評価する (20%) 到達目標 (2) について、テーマ学習における資料、説明、質疑応答で評価する (20%) 到達目標 (3) について、テーマ学習における資料、説明、質疑応答で評価する (20%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	日本語練習帳	大野 晋	岩波書店	978-4004305965
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（生活栄養）						担当教員	学科教員／福渡 努／佐野 光枝／ 矢野 仁康／奥村 万寿美／遠藤 弘史／ 中井 直也／今井 絵理／東田 一彦／
講義コード	1400350	単位数	2	開講期	通年	授業方法	実	
ナンバリング番号	134NUT101							

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習／復習		
第1回	オリエンテーション	本実習のねらい、趣旨、学習のしかたについて説明を受ける。			2	シラバス、事前配布資料を熟読し、0. シラバス、配布資料を熟読し、講義0.	
第2回	テーマ学習 1	少人数グループ（6名程度）に分かれ、与えられたテーマの内容、方向性、進め方などについて、担当教員（2～3名）と話し合う。			2	事前配布資料を熟読し、内容を理解0. 話し合いの内容をノートにまとめ直0.	
第3回	テーマ学習 2	調査の内容、方法、資料作成について、グループで検討する。			2	担当教員との話し合いの内容につい0. 各自の担当内容、作業内容につい0.	
第4回	テーマ学習 3	グループで検討した内容に基づき、文献調査、インタビュー調査などの調査を行う。調査結果を資料にまとめる。			2	各自の担当内容、作業内容につい0. 各自の調査結果について、グループ0.	
第5回	テーマ学習 4	調査結果を担当教員に説明し、担当教員のコメントを受ける。			2	調査結果の説明内容を確認しておく0. 担当教員のコメントをノートにまと0.	
第6回	テーマ学習 5	担当教員のコメント踏まえ、調査の内容、方法、資料作成について、グループで検討する。			2	担当教員との話し合いの内容につい0. 各自の担当内容、作業内容につい0.	
第7回	テーマ学習 6	グループで検討した内容に基づき、文献調査、インタビュー調査などの調査を行う。調査結果を資料にまとめる。			2	各自の担当内容、作業内容につい0. 各自の調査結果について、グループ0.	
第8回	テーマ学習 7	調査結果を担当教員に説明し、担当教員のコメントを受ける。			2	調査結果の説明内容を確認しておく0. 担当教員のコメントをノートにまと0.	
第9回	テーマ学習 8	担当教員のコメント踏まえ、発表資料の作成、発表方法、質疑応答についてグループで検討する。			2	担当教員との話し合いの内容につい0. 各自の担当内容、作業内容につい0.	
第10回	テーマ学習 9	グループで検討した内容に基づき、発表資料を完成させ、それをを用いた発表練習を行い、質問に対する回答を作成する。			2	各自の担当内容、作業内容につい0. 各自の調査結果について、グループ0.	
第11回	テーマ学習 10	プレゼンテーションの内容を担当教員に説明し、担当教員のコメントを受ける。			2	発表内容を確認しておくこと。0. 担当教員のコメントをノートにまと0.	
第12回	現地調査事前指導	現地調査での注意事項について、説明を受ける。現地調査での調査内容、方法について、グループで検討する。			2	事前配布資料を熟読し、内容を理解0. グループで検討した内容をノートに0.	
第13回	現地調査 1	最初に訪れた関連施設で見学を行い、説明を聞く。			2	テーマ学習の発表資料を熟読し、理0. 見学、説明の内容をノートにまとめ0.	
第14回	現地調査 2	最初に訪れた関連施設で、担当者に質疑応答を行う。			2	質問する内容を準備しておくこと。0. 質疑応答の内容をノートにまとめ直0.	
第15回	現地調査 3	2番目に訪れた関連施設で見学を行い、説明を聞く。			2	テーマ学習の発表資料を熟読し、理0. 見学、説明の内容をノートにまとめ0.	
第16回	現地調査 4	2番目に訪れた関連施設で、担当者に質疑応答を行う。			2	質問する内容を準備しておくこと。0. 質疑応答の内容をノートにまとめ直0.	
第17回	現地調査 5	3番目に訪れた関連施設で見学を行い、説明を聞く。			2	テーマ学習の発表資料を熟読し、理0. 見学、説明の内容をノートにまとめ0.	
第18回	現地調査 6	3番目に訪れた関連施設で、担当者に質疑応答を行う。			2	質問する内容を準備しておくこと。0. 質疑応答の内容をノートにまとめ直0.	
第19回	現地調査 7	4番目に訪れた関連施設で見学を行い、説明を聞く。			2	テーマ学習の発表資料を熟読し、理0. 見学、説明の内容をノートにまとめ0.	
第20回	現地調査 8	4番目に訪れた関連施設で、担当者に質疑応答を行う。			2	質問する内容を準備しておくこと。0. 質疑応答の内容をノートにまとめ直0.	
第21回	現地調査 9	5番目に訪れた関連施設で見学を行い、説明を聞く。			2	テーマ学習の発表資料を熟読し、理0. 見学、説明の内容をノートにまとめ0.	
第22回	現地調査 10	5番目に訪れた関連施設で、担当者に質疑応答を行う。			2	質問する内容を準備しておくこと。0. 質疑応答の内容をノートにまとめ直0.	
第23回	報告書作成方法	様式、記載内容、書き方など、報告書の作成方法について説明する。			2	事前配布資料を熟読し、内容を理解0. 説明の内容をノートにまとめ直し、0.	
第24回	報告書作成 1	作成する報告書の内容について、グループで検討する。			2	前回の報告書作成方法について、確0. 各自の担当内容、作業内容につい0.	
第25回	報告書作成 2	グループで検討した内容に基づき、報告書を作成する。			2	各自の担当内容、作業内容につい0. 各自の報告書について、グループ内0.	
第26回	報告書作成 3	報告書を担当教員に説明し、担当教員のコメントを受ける。			2	報告書の説明内容を確認しておくこ0. 担当教員のコメントをノートにまと0.	
第27回	報告書作成 4	担当教員のコメント踏まえ、作成する報告書の内容、修正事項について、グループで検討する。			2	担当教員のコメントについて、確認0. 各自の担当内容、作業内容につい0.	
第28回	報告書作成 5	グループで検討した内容に基づき、報告書を修正する。			2	各自の担当内容、作業内容につい0. 各自の報告書について、グループ内0.	
第29回	報告書作成 6	修正した報告書を担当教員に説明し、担当教員のコメントを受ける。			2	報告書の説明内容を確認しておくこ0. 担当教員のコメントをノートにまと0.	
第30回	報告書作成 7	担当教員のコメント踏まえ、報告書を完成させる。			2	担当教員のコメントについて、確認0. 報告書作成を通じて学んだことをま0.	
担当者から							
新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、授業内容の一部を変更することがあります。							

講義名	管理栄養士総合演習						担当教員	学科教員 / 福渡 努 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1400380	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	434NUT491							

授業概要

最新の公衆栄養、栄養教育、臨床栄養、基礎栄養などに関する英語論文を読み、まとめ、発表し、全員で討論する。

到達目標

- (1) 各分野・領域に関する重要事項について関心と意欲を持ち、その知識を包括的に応用することができる管理栄養士としての応用実践力を習得する。
- (2) 領域を超えた専門知識と技術を関連づけ活用できる
- (3) 英語の論文を読みこなす能力を身につける・・・その論文の背景にある基礎情報や栄養代謝、技術に関しても文献を読み、幅広い基礎知識を身につける。
- (4) プレゼンテーション能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
 授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。特別な理由がない限り欠席は認めない。
 毎回の演習への参加態度、プレゼン、到達目標で示した事項について、総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：適宜指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名		管理栄養士総合演習					担当教員	学科教員/福渡 努/佐野 光枝/ 矢野 仁康/奥村 万寿美/遠藤 弘史/ 中井 直也/今井 絵理/東田 一彦/	
講義コード		1400380	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号		434NUT491							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習	
第1回	論文の選択(割り当て)、実施方法について	後半の演習の実施方法および実施計画について説明する。数人のグループを編成し、1グループに論文を1本与える。各グループで進め	2	0	1
第2回	論文のまとめ(グループワーク1)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第3回	論文のまとめ(グループワーク2)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第4回	論文のまとめ(グループワーク3)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第5回	論文のまとめ(グループワーク4)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第6回	論文のまとめ(グループワーク5)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第7回	論文のまとめ(グループワーク6)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第8回	論文のまとめ(グループワーク7)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第9回	論文のまとめ(グループワーク8)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第10回	論文のまとめ(グループワーク9)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第11回	論文のまとめ(グループワーク10)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第12回	論文のまとめ(グループワーク11)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第13回	論文のまとめ(グループワーク12)	各グループ毎に論文を訳し、プレゼンテーションを準備する。	2	0	1
第14回	プレゼン(前半)	各グループ毎にポスター形式(スライド形式)によるプレゼンテーションを行う。	2	0	1
第15回	プレゼン(後半)	各グループ毎にポスター形式(スライド形式)によるプレゼンテーションを行う。	2	0	1
担当者から					

講義名	基礎栄養学						担当教員	福渡 努
講義コード	1400400	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	134NUT221							

授業概要

食事から摂取した栄養素が消化、吸収、組織へ運搬、代謝され、生理作用を発揮し、分解、排泄されるまでの運命とその調節機構に関する学問分野が基礎栄養学である。したがって、基礎栄養学はあらゆる栄養学の根幹をなす。本講義では、基礎栄養学の導入部として、栄養素の種類、代謝、生理的意義、体内動態の概要について解説する。

到達目標

- (1) 各栄養素の種類、特徴、機能について、要点をまとめて、分かりやすく説明できるようになる。
- (2) 各栄養素の代謝の概要について、要点をまとめて、分かりやすく説明できるようになる。
- (3) 各栄養素の消化・吸収、体内動態について、要点をまとめて、分かりやすく説明できるようになる。
- (4) 基礎栄養学と健康との関わりについて、自分の考えを分かりやすく説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標 (1) について論述式試験を行う (20%) 到達目標 (2) について論述式試験を行う (10%) 到達目標 (3) について論述式試験を行う (20%)
レポート課題	10	到達目標 (4) について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	40	到達目標 (2) について、到達確認テストを行う (20%)。 到達目標 (1) について、小テストを行う (10%)。 到達目標各項目について、毎回、レスポンスシートを課す (10%)。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

- ・別途示した予習ポイントを意識して、教科書の該当部分を読んでから講義に臨むこと。
- ・講義後の復習として、講義で指示したポイントを意識して、教科書の該当部分を読み、確実に理解を深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	基礎栄養学 改訂第6版	柴田克己ほか編	南江堂	9784524248179
2	日本人の食事摂取基準2020年版		第一出版	9784804113128
3				

「基礎栄養学 改訂第6版」を初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マッキー生化学 第6版	市川厚 監修	化学同人	9784759819434
2	生化学	石堂一巳・福渡努 編	南江堂	9784524241828
3	一目でわかる代謝	麻生芳郎 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9784895922234

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

履修資格

講義名	基礎栄養学						担当教員	福渡 努
講義コード	1400410	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	234NUT222							

授業概要

食事から摂取した栄養素が消化、吸収、組織へ運搬、代謝され、生理作用を発揮し、分解、排泄されるまでの運命とその調節機構に関する学問分野が基礎栄養学である。したがって、基礎栄養学はあらゆる栄養学の根幹をなす。本講義では、基礎栄養学の展開部として、各栄養素の代謝とその調節機構の詳細について解説する。

到達目標

- (1) 各栄養素の代謝の詳細について、要点をまとめ、論理的に分かりやすく説明できるようになる。
- (2) 各栄養素の代謝調節機構について、要点をまとめ、論理的に分かりやすく説明できるようになる。
- (3) 各栄養素の望ましい摂取量について、その根拠を論理的に分かりやすく説明できるようになる。
- (4) 基礎栄養学と健康との関わりについて、自分の考えを論理的に分かりやすく説明できるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標 (1) について、論述式試験を行う (20%) 到達目標 (2) について、論述式試験を行う (20%) 到達目標 (3) について、論述式試験を行う (20%)
レポート課題	10	到達目標 (4) について、レポート課題を課す (10%)
上記以外	30	到達目標 (1) および (2) について、到達確認テストを行う (20%) 到達目標各項目について、毎回、レスポンスシートを課す (10%)。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

- ・別途示した予習ポイントを意識して、教科書の該当部分を読んでから講義に臨むこと。
- ・講義後の復習として、講義で指示したポイントを意識して、教科書の該当部分を読み、確実に理解を深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	基礎栄養学 改訂第6版	柴田克己ほか編	南江堂	9784524248179
2	日本人の食事摂取基準2020年版		第一出版	9784804114088
3				

「基礎栄養学 第6版」を初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	マッキー生化学 第6版	市川厚 監修	化学同人	9784759819434
2	生化学	石堂一巳・福渡努 編	南江堂	9784524241828
3	一目でわかる代謝	麻生芳郎 訳	メディカルサイエンスインターナショナル	9784895922234

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

履修資格

講義名	基礎栄養学実験						担当教員	福渡 努 / 畑山 翔
講義コード	1400420	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	実	
ナンバリング番号	334NUT325							

授業概要

栄養状態を反映する尿中の生体指標を分析し、食事調査結果による栄養素等摂取量と比較することにより、生体指標を用いた栄養評価の考え方を理解することが本講義のねらいである。併せて、生体指標の分析に関する原理、栄養素代謝の実際を理解し、基礎栄養学実験に必要な基本的な技術操作を修得する。

到達目標

- (1) 基礎栄養学実験を準備し、遂行できるようになる。
- (2) 実験機器・器具の原理を理解し、正しく操作することができるようになる。
- (3) 実験原理・測定方法を説明できるようになる。
- (4) 基礎栄養学実験で得たデータを解析し、まとめることができるようになる。
- (5) 基礎栄養学実験の内容、データに関する疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	到達目標 (3), (4), (5) についてレポート (40%) およびプレゼンテーション (質疑応答含む, 20%) で評価する
上記以外	40	到達目標 (1) について、実験ノートおよび手技の観察で評価する (30%) 到達目標 (2) について、手技の観察で評価する (10%)

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

予習では、以下の項目を行うこと。
・当日の操作の手順について、実験ノートに箇条書きでまとめておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	栄養生理学・生化学実験	加藤秀夫ほか編	講談社	9784061553491
2	栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド	倉沢新一ほか	化学同人	9784759811377
3				

初回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う

前提学力等

履修資格

講義名	基礎栄養学実験						担当教員	福渡 努 / 畑山 翔		
講義コード	1400420	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	実			
ナンバリング番号	334NUT325									

授業計画											
回数	テーマ	概要				予習 / 復習					
第1回	講義の目的と概要	本講義のねらいについて概説し、実験方法および実験上の注意事項について説明する。				2	シラバスを熟読し、内容を理解して配布プリントを熟読し、講義の内容				0.
第2回	マイクロピペットの点検	実験で使用するマイクロピペットの精度と再現性を調べる。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実験データを解析し、ノートにまと				0.
第3回	尿検体の安定化処理	採尿した24時間尿を検体として使用できるよう安定化処理を行う。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実験データを解析し、ノートにまと				0.
第4回	尿中NaおよびKの測定	尿のNaおよびKの濃度をイオン選択電極法により測定する。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実験データを解析し、ノートにまと				0.
第5回	尿中カルシウムの測定 の準備	o-CPC法によるカルシウム測定で用いる試料および試薬を準備する。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実際の作業内容をノートにまとめ直				0.
第6回	尿中カルシウムの測定	o-CPC法により、試料の尿中カルシウム濃度を測定する。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実験データを解析し、ノートにまと				0.
第7回	HPLC分析の測定の準備	HPLCを用いたビタミン分析に使用する試料および試薬を準備する。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実際の作業内容をノートにまとめ直				0.
第8回	尿中総アスコルビン酸 の測定の準備	HPLC法によるアスコルビン酸測定で用いる試料および試薬を準備する。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実際の作業内容をノートにまとめ直				0.
第9回	尿中総アスコルビン酸 の測定	HPLC法により、尿中総アスコルビン酸濃度を測定する。				2	配布プリントを熟読し、操作内容を実験データを解析し、ノートにまと				0.
第10回	片付け	使用した試料、試薬、器具、機器を片付ける。				2	配布プリントを熟読し、作業内容を実際の作業内容をノートにまとめ直				0.
第11回	食事調査の解析	秤量法による食事記録から栄養素等摂取量を算出する。				2	配布プリントを熟読し、作業内容を解析データをノートにまとめ直し、				0.
第12回	データ解析	栄養素等摂取量および測定結果をもちいて、データ解析を行う。				2	配布プリントを熟読し、作業内容を測定結果を解析し、まとめること。				0.
第13回	グループワーク 1	グループに課された課題について、データをまとめ、プレゼンテーションの概要を決定する。				2	プレゼンテーションの内容に関する準備したプレゼンテーションの内容				0.
第14回	グループワーク 2	グループに課された課題について、プレゼンテーションで使用するパワーポイントファイルを作成する。				2	具体的なパワーポイントスライドの準備したプレゼンテーションの内容				0.
第15回	プレゼンテーション	課題のプレゼンテーション、質疑応答を行う。				2	プレゼンテーションへの質問に対する各班のプレゼンテーションの内容、				0.
担当者から											

講義名	給食衛生管理実習						担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1400450	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT375							

授業概要

学校給食をはじめとする大量調理施設や食品関連企業では、食中毒が最重要の危機管理項目であり、HACCPシステムを取り入れた新たな衛生管理システムが構築されている。各種施設においては、安全衛生マネジメントのできる管理栄養士・栄養士の養成が必要とされている。そこで、(1)食品調理・加工における衛生管理 (2)調理環境における衛生と管理 (3)大量調理施設管理マニュアルに基づく衛生管理の実際について、実習を通して理解を深め、知識・技術を習得する。

到達目標

- (1) 「大量調理施設衛生管理マニュアル」の全般が理解できる。
- (2) 衛生管理の実際として具体的実施方法を習得し、調理従事者への衛生教育ができる。
- (3) HACCPシステム構築のための危害分析と危害リストを作成することができる。
- (4) 危機管理として、インシデント及びアクシデントレポートの作成。食中毒発生時の対応が出来る。
- (5) 衛生管理責任者としての対応ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	
上記以外	10	評価会におけるプレゼンテーション

3回以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	七訂 大量調理施設衛生管理のポイント : HACCPの考え方に基づく衛生管理手法」	中央法規	中央法規	978-4-8058-5735-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリント配布

前提学力等

履修資格

講義名	給食経営管理実習						担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1400461	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT374							

授業概要

特定多数人数を対象とした給食施設での大量調理は、給食施設の食事計画に基づいて作成された献立を、施設の限られた調理条件のなかで調理し、衛生的に安全で、しかもおいしく、食事として満足できる料理を提供することが求められる。そのためには、栄養士に対し、時間や設備、調理担当者などの資源を効率よく使い、一定の品質のものを安定的に作り上げるように管理・統制していくという役割が課せられる。

100人を対象にした食事を提供する学内での給食管理実習では、これまでに学んできた知識と技術を活用して、栄養士に必要とされる企画・運営・管理能力を養うことを目的とする。

また、食事提供において、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」を念頭に置きながら、食・健康・地産地消（農）、環境問題にも取り組む。

到達目標

- (1) 管理栄養士、調理師の役割分担が理解できること。
- (2) 下処理から始まり、調理、配食、食器洗浄、保管までの作業分担が出来ること。
- (3) 大量調理に必要な書類が作成できること。
- (4) 食材料費の執行が予算内にできること。
- (5) HACCPに基づく衛生管理が理解できること。
- (6) 目標設定に対する評価ができること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	到達目標についてレポートで評価する。 (1) 10% (2) 10% (3) 20% (4) 20% (5) 20% (6) 10%
上記以外	10	評価会のプレゼンテーション

5分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	給食経営管理論実習	特定非営利活動法人 日本栄養改善学会監修慣習	医歯薬出版株式会社	978-4-263-70690
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

給食経営管理論 が履修済みであること

履修資格

講義名	給食経営管理実習						担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1400461	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT374							

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習 / 復習		
第1回	オリエンテーション	授業の概要と注意点 実習スケジュール			3		
第2回	実習計画 立案	実習計画 立案 給与目標量と食品構成			3		
第3回	実習準備	実習計画 作業工程			3		
第4回	基準献立実習	基準献立実習 実習の準備			3		
第5回	基準献立実習	基準献立実習 実習の準備			3		
第6回	試作	試作 実習準備			3		
第7回	試作	試作 実習準備			3		
第8回	生産管理実習	大量調理実習 課題学習			3		
第9回	生産管理実習	大量調理実習 課題学習			3		
第10回	生産管理実習	大量調理実習 課題学習			3		
第11回	生産管理実習	大量調理実習 課題学習			3		
第12回	生産管理実習	大量調理実習 課題学習			3		
第13回	生産管理実習	大量調理実習 課題学習			3		
第14回	評価会資料作成	評価会資料作成			3		
第15回	評価会, まとめ	報告会 (プレゼンテーション) 総括			3		
担当者から							

講義名	給食経営管理臨地実習							担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1400470	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習		
ナンバリング番号	334NUT384								

授業概要

学外（特定給食施設：病院、福祉施設、学校など）にて給食施設の管理運営の実態に臨み、適切な管理を行うために、いかなる専門的知識および技術が総合的に関わっているかを習得する。（学外の給食施設において、授業計画第1回から第15回に計画された内容を実施する。）

到達目標

(1) 給食業務を行うために必要な食事の計画や調理を含めた給食サ - ビス提供に関し、栄養士として具備すべき知識及び技能を修得する」

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	施設実習担当者の「実習評価票」
レポート課題	30	自主課題及び実習レポート、報告会
上記以外		

欠席したものは評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

給食経営管理論、給食経営管理論実習、給食衛生管理論実習を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	給食経営管理臨地実習						担当教員	奥村 万寿美		
講義コード	1400470	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習			
ナンバリング番号	334NUT384									

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	特定給食施設の概要	オリエンテーション、実習スケジュールの説明 特定給食施設の概要					3				
第2回	特定給食施設の法的根拠	特定給食施設の法的根拠 業務の概要					3				
第3回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第4回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第5回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第6回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第7回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第8回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第9回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第10回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第11回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第12回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第13回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第14回	特定給食施設における「給食の運営」	給食の運営：給食費、献立作成、材料発注、検収、食数管理、調理作業、配膳などの基本的業務を実習					3				
第15回	まとめ	振り返り 総括					3				
担当者から											
「栄養士」の免許取得および「管理栄養士受験資格」に必須の科目である。											

講義名	給食経営管理論						担当教員	奥村 万寿美
講義コード	1400481	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	234NUT271							

授業概要

栄養士法において、管理栄養士の業務の1つとして、「特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設における利用者の身体状況・栄養状態、利用の状況等に応じた特別な配慮をする給食管理」を行うものと定められている。
この業務を遂行するために、給食の運営や関連の資源（食品流通や食品開発の状況、給食に関する組織や経費等）を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を養う。給食運営管理のマネジメントの基本的な考え方や方法を修得する。

到達目標

- (1) 特定給食施設における利用者の状況に対応した給食サービスの意義・役割を説明できる。
- (2) 給食施設における利用者のアセスメント情報に基づいた栄養・食事管理（食事計画の立案）を行うことができる。
- (3) 給食施設におけるHACCPシステムに基づいた安全・衛生管理の意義と実際（調理従事者への衛生教育）を理解することができる。
- (4) 給食施設における危機管理の意義・必要性を理解することができる。
- (5) 各施設における給食経営管理と関連法規について理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

給食経営管理論実習と直結する講義である。座学で学んだ知識を実践に応用できるように整理をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第3版 給食経営管理論	三好恵子 他	第一出版	978-4-8041-1407-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	給食経営管理論						担当教員	奥村 万寿美 / 田中 浩子
講義コード	1400485	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT377							

授業概要

不安定な経済社会においては、経営上の効率性、経済性を無視したあり方は成り立たない現状がある。給食を提供する視点を超えて、その企業や病院の経営全体をグローバルに把握するには経済学・経営学がもはや不可欠である。給食経営管理は、該当する特定給食施設の集団の中で個人個人に対して適切な食事を合理的に安全に提供するため、生産・品質管理、衛生・安全管理、機動性、経済性、機能や安全性を考慮した施設・設備管理、適正な人事労務管理、経営的な感覚を必要とする原価管理、食事や業務の評価、危機管理など多岐にわたるものである。これらの給食経営管理に必要な知識・技術を各施設の特徴を踏まえ学習する。

到達目標

- (1) 経営管理の理論と組織管理の在り方を説明できる
- (2) 特定給食施設におけるフードマネジメントが出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
給食・衛生管理実習と並行して行われるので、学んだ知識をどのように活用しているかも、実習においての評価の対象となる。

授業外学習

給食経営管理論 で学んだ「給食の運営」および、給食経営管理論 で学んだフードマネージメントの知識が、臨地校外実習「給食の運営」に必要となります。臨地校外実習の準備として、復習することを推奨します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第3版 給食給食経営管理論	三好恵子 他	第一出版	978-4-8041-1407-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、プリントを配布する

前提学力等

給食経営管理論 について理解していること。

履修資格

講義名	給食経営管理論						担当教員	奥村 万寿美 / 田中 浩子	
講義コード	1400485	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授		
ナンバリング番号	334NUT377								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習 / 復習				
第1回	第17章 給食業務と事務・情報管理	事務・条項管理の意義・目的 給食の基礎情報と帳票の種類				2	第17章 給食業務と事務・情報管理	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第2回	第18章 各給食施設の給食運営の特徴	病院の給食運営				2	第18章 病院給食について調べる	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第3回	第16章 危機管理	危機管理の目的 災害・事故の種類と影響				2	第16章 危機管理	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第4回	第18章 各給食施設の給食運営の特徴	高齢者・介護施設の給食運営				2	第18章 高齢者・介護施設における	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第5回	第18章 各給食施設の給食運営の特徴	事業所の給食の運営				2	第18章 社員食堂における給食につ	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第6回	第18章 各給食施設の給食運営の特徴	学校の給食運営				2	第18章 学校給食の意義について調	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第7回	第18章 各給食施設の給食運営の特徴	児童・障がい者福祉、その他の施設の給食運営				2	第18章 保育所給食について調べる	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第8回	第14章 給食運営の委託	委託の目的 委託の形態				2	第14章 給食委託会社について調	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第9回	第10章 経営管理	経営管理の意義と目的 経営管理の機能と展開				2	第10章 経営管理	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第10回	第10章 経営管理	経営組織 経営資源				2	第10章 経営管理	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第11回	第11章 マーケティング	マーケティングの定義 マーケティングの意義・目的				2	第11章 マーケティング	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第12回	第12章 顧客管理	顧客管理の意義・目的 給食における顧客サービス				2	第12章 顧客管理、第13章 人事・	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第13回	第15章 原価管理	原価管理の意義・目的 給食の原価管理				2	第15章 原価管理	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第14回	第15章 原価管理	給食の会計管理 原価管理の評価				2	第15章 原価管理	2	配布したプリントの練習問題を解答	2
第15回	給食経営管理の総括	給食経営管理の総合的理解				2	配布したプリントの整理	2		2
担当者から										
給食経営管理論 を復習しておくこと。										

講義名	健康情報管理実習						担当教員	遠藤 弘史 / 田中 大也
講義コード	1400620	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	134NUT211							

授業概要

情報化社会に適応できる能力を身に付ける。すなわち、栄養食品および消費生活に関する情報を提供する情報媒体について学び、さらに健康情報や栄養補助食品および消費などに関する情報の入手し、これらの情報をプレゼンテーションソフトのPowerPointなどを利用して、表示する手法などを習得する。さらに、健康に関するデータの統計処理の手法についても学ぶ。

到達目標

健康情報を検索し、健康情報を統計処理し、プレゼンテーションソフトによって表示できること。さらに、検索で得られた健康情報によりレポートを提出。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	実習中の作成物により評価する

課題とレポートの提出

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生学						担当教員	大江 武
講義コード	1400790	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	234NUT243, 241NUR212							

授業概要

人は生涯を通じて、公衆衛生と関っており、公衆衛生の恩恵を受けている。その公衆衛生の概念を理解し、公衆衛生の根幹である健康の問題、疾病予防の考え方やわが国におけるそれらの取り組みについて学び、人間の健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかを理解する。健康情報の利用についても理解する。
公衆衛生の定義「地域社会において組織化された社会的努力を通じて疾病を予防し、生命を延長し、住民すべての健康を維持し、高めるための技術と科学である」を理解するように講義を進めていく。

到達目標

- (1) 健康の概念、健康増進、疾病予防の考え方やその取り組みについて理解する。
- (2) 社会や環境と健康との関係を理解するとともに、社会や環境の変化が健康に与える影響を理解する。
- (3) 健康情報の利用方法、情報管理について理解する。
- (4) 人間の行動特性とその基本的メカニズムを理解する。
- (5) 保健・医療・福祉・介護などのシステムの概要を理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	履修内容の理解度並びに応用力を評価する。
レポート課題	0	
上記以外	20	受講態度・積極性を評価する。

講義時間数の4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

講義前の学習：教科書の該当箇所を目を通し、キーワードを頭にしておくこと。
講義後の学習：教科書の該当箇所を熟読し、配布プリントについても理解を深めておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Nブックス 社会・環境と健康 五訂 公衆衛生学	後藤政幸・中村信也	建帛社	N978-4-7679-0642-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の講義時にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	公衆栄養学						担当教員	今井 絵理
講義コード	1400800	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT313							

授業概要

ヘルスプロモーション、健康増進、疾病予防などを目的とした公衆栄養活動を学ぶ。そのために必要な健康・栄養問題の現状（社会環境、健康状態、食事、食生活、食環境、諸外国の栄養問題）と課題に関する動向を知り、それらに対応した栄養施策を理解する。

到達目標

- (1)地球レベルの健康栄養問題とその解決のための公衆栄養活動が説明できる。
- (2)わが国の少子高齢化、長寿社会に対応した健康増進の公衆栄養活動の重要性を理解できる。
- (3)個人の食事や食行動・食知識・食スキルの在り方を変容させる方法を身につける。
- (4)食品の生産・流通、食料自給率などの食環境を理解できる。
- (5)諸外国の食糧・健康における地域間格差を理解できる。
- (6)公衆栄養活動の組織づくり、人材育成の重要性を理解できる。
- (7)管理栄養士・栄養士の制度の沿革、社会的役割を理解できる。
- (8)国民健康・調査調査の沿革、目的、内容、方法を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標について、定期試験を行う。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標について授業で進んだ内容までで中間テストを行う。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	健康・栄養科学シリーズ	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所	南江堂	978-4-524-22527-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

公衆衛生学を履修していること。

履修資格

講義名	公衆栄養学実習							担当教員	今井 絵理
講義コード	1400810	単位数	1	開講期	後期実習	授業方法	授		
ナンバリング番号	334NUT315								

授業概要

人間集団の健康の保持増進のための実践活動の技術の習得と健康管理能力の向上を目指して、栄養指導業務を理解し、実践を通して個人および集団の食生活と栄養状態を把握し、健康づくりに必要な公衆栄養活動のあり方を学ぶ。

到達目標

- (1) 集団の食事摂取量データを用いて、基本統計量、分布を用いた評価、平均値の差の検定、相関係数、危険度などの算出方法を理解し、その結果の解釈について説明することができる。
- (2) 公衆栄養アセスメントとして、地域の人口の構造と変化の資料、平均寿命や死亡率のデータを収集し、アセスメント結果を説明できる。
- (3) 公衆栄養アセスメントの結果をふまえ、優先課題を整理し、数値目標を設定し、実施するための計画書を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標について、各回の課題に対して、電子ファイルデータおよびレポート内容で評価する。
上記以外	40	到達目標の課題に対してのプレゼンテーションで評価する。

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業時間数の3分の1以上を欠席した者は、評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 公衆栄養学実習ワークブック		みらい	9784860153748
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	嗜好と調理実習						担当教員	谷口 美津子 / 辰巳 佐和子 / 未定 *
講義コード	1400950	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実習	
ナンバリング番号	134NUT233							

授業概要

食材を衛生的かつ安全に、栄養素等の損失を少なく、無駄なく美味しく調理し、楽しい食卓を演出するにはどうすればよいかを実習を通じて学習する。また、毎回実習したものが「一食の献立」として栄養的にバランスよくなるにはどうしたらよいかを考える。調理学のみならず、他の専門科目で学習したことが活かせるような実習を行う。

到達目標

基本的な調理技術を確実に習得し能率のよい調理操作ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	調理遂行能力(調理前準備・片付け・調理工程の手際・衛生管理・盛り付けを含む完成品の出来栄・失敗のリカバリ能力・アイデア等)40%、課題献立評価20%、調理操作・献立作成の理解40%

授業時間数の5分の1以上欠席した者は評価対象にしない

授業外学習

課題献立作成

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	映像で学ぶ調理の基礎とサイエンス	松崎ら編	学際企画	ISBN978-4-906514-86-1
2	日本食品成分表2021 八訂	医歯薬出版	医歯薬出版	ISBN978-4-263-70808-8 C2077
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養科学シリーズ献立作成の基本と実践	藤原ら編	講談社	ISBN978-4-06-15578-1 C3347
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	嗜好と調理実習						担当教員	奥村 万寿美 / 辰巳 佐和子 / 未定 *
講義コード	1400960	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	234NUT235							

授業概要

料理することは食品を安全でおいしく食べるために人が得た技術である。栄養的でしかも喫食者の嗜好に合った料理を提供することは重要なことである。また、提供の方法（食卓構成）や食事のマナーも食事を豊かなものにするために欠かせない要素である。本実習では調理操作による食品の変化を観察し、科学的根拠を理解する。また、日本料理・西洋料理・中華料理などの食卓構成とマナーを理解し実践につなげる。
食事計画を理解し、対象者にあった献立作成の基本を習得し、実践する。
郷土料理や災害時などの食事についても理解する。

到達目標

- (1) 食卓構成やマナーを理解し実践できる。
- (2) 調理にともなう現象を食品の理化学的な変化として捕らえ理解することができる。
- (3) 基本的な調理の知識・技術を理解し、盛り付け、色彩調和などを含めた総合的な食事の提供ができる。
- (4) 食事計画の基本を理解し、計画の立案ができ、実践へと繋げることが出来る。
- (5) 滋賀野食文化を理解して、地産地消を取り入れた郷土食が提供できる
- (6) 災害時などの有事における食事の提供ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90%	各回レポートで評価する (1)～(2) 40% (3)～(6) 50%
上記以外	10%	実習への取り組み状況により評価する(10%)

5分の1以上欠席した場合は、評価対象としない。
調理室使用のルール（使用規則および服装・清潔）に従わない場合は実習に参加できないので注意すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	献立作成の基本と実践	藤原・河原編	講談社	978-4061553781
2	食事設計と栄養のための調理科学実験	奥田・畑江・吉岡編	光生館	978-4-332-05035-3
3	日本食品成分表2020年版	医歯薬出版編	医歯薬出版株式会社	

初回授業時に持参すること（実験レポート用紙つきのため）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	調理と理論	山崎清子ら	同文書院	
2				
3				

授業中にプリントも配布する

前提学力等

履修資格

講義名	疾病の成り立ち						担当教員	矢野 仁康
講義コード	1400991	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT346							

授業概要

病態評価のための診察の仕方、症候のみかた、臨床検査のみかた、疾患治療の概要などを理解する。各種疾患の発症後の病状の進展、増悪、合併症の併発の過程を学び、各々における重症度判定、病期分類の基本と考え方、それらに基づいた薬物治療、外科療法、食事療法、運動療法の理論と実践について講義する

到達目標

疾患に伴う細胞、組織の変化について理解できる 疾患診断と治療の概要を理解することができる 栄養と代謝（糖質・脂質代謝とその異常）について理解できる 栄養と代謝（蛋白質・核酸代謝とその異常）について理解できる 栄養障害（肥満とやせ、蛋白質・エネルギー障害、ビタミン・ミネラル異常症）について理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病と栄養について十分な知識を得る事が出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示した疾患に伴う細胞、組織の変化について理解できる 疾患診断と治療の概要を理解することができる 栄養と代謝（糖質・脂質代謝とその異常）について理解できる 栄養と代謝（蛋白質・核酸代謝とその異常）について理解できる 栄養障害（肥満とやせ、蛋白質・エネルギー障害、ビタミン・ミネラル異常症）について理解できる
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	人体の構造と機能および疾病の成り立ち 疾病の成り立ち	田中清 他	中山書店	ISBN978-4-521-74286-1
2				
3				

上記教科書選び準備すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため適宜プリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	疾病の成り立ち						担当教員	矢野 仁康
講義コード	1400991	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT346							

授業計画								
回数	テーマ	概要				予習 / 復習		
第1回	疾患による細胞、組織の変化	炎症と創傷治癒、変性、壊死、細胞死について学ぶ				2	第1回の授業内容について教科書を 第1回の講義内容の復習をする	2 2
第2回	疾患による細胞、組織の変化	萎縮、細胞の増殖と腫瘍について学ぶ				2	第2回の授業内容について教科書を 第2回の講義内容の復習をする	2 2
第3回	疾患診断の概要	一般的診察、主な徴候について学ぶ				2	第3回の授業内容について教科書を 第3回の講義内容の復習をする	2 2
第4回	疾患診断の概要	臨床検査について学ぶ				2	第4回の授業内容について教科書を 第4回の講義内容の復習をする	2 2
第5回	疾患診断の概要	臨床検査について学ぶ				2	第5回の授業内容について教科書を 第5回の講義内容の復習をする	2 2
第6回	疾患治療の概要	治療の種類と特徴、治療計画・実施・評価、について学ぶ				2	第6回の授業内容について教科書を 第6回の講義内容の復習をする	2 2
第7回	疾患治療の概要	治療の方法について学ぶ				2	第7回の授業内容について教科書を 第7回の講義内容の復習をする	2 2
第8回	疾患治療の概要	治療の方法について学ぶ				2	第8回の授業内容について教科書を 第8回の講義内容の復習をする	2 2
第9回	疾患治療の概要	薬物代謝に及ぼす食品の影響を学ぶ				2	第9回の授業内容について教科書を 第9回の講義内容の復習をする	2 2
第10回	蛋白質（核酸）代謝とその異常	蛋白質（核酸）代謝とその異常について学ぶ				2	第10回の授業内容について教科書を 第10回の講義内容の復習をする	2 2
第11回	糖質代謝とその異常	糖質代謝とその異常について学ぶ				2	第11回の授業内容について教科書を 第11回の講義内容の復習をする	2 2
第12回	脂質代謝とその異常	脂質代謝とその異常について学ぶ				2	第12回の授業内容について教科書を 第12回の講義内容の復習をする	2 2
第13回	栄養障害	栄養障害の成因・病態・診断・治療について学ぶ				2	第13回の授業内容について教科書を 第13回の講義内容の復習をする	2 2
第14回	栄養障害	栄養障害の成因・病態・診断・治療について学ぶ				2	第14回の授業内容について教科書を 第14回の講義内容の復習をする	2 2
第15回	摂食障害	摂食障害の成因・病態・診断・治療について学ぶ				2	第15回の授業内容について教科書を 第15回の講義内容の復習をする	2 2
担当者から								

講義名	疾病の成り立ち						担当教員	矢野 仁康
講義コード	1401001	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	234NUT244							

授業概要

疾病とは何か、人はいかにして病気を発症するかを学ぶ。様々な疾患において内因性要素、外因性要素の関わりを理解し、発症から病態形成の過程を学ぶ。いわゆる生活習慣病や栄養代謝疾患、消化器疾患、免疫アレルギー疾患、感染症等について、その発症の過程、診断方法などを講義する。各種疾病を理解すると共にそれらに対する臨床医の考え方、方法論を理解することが求められる

到達目標

器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の成り立ちと病態の概要を理解できる 器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療について十分な知識を得る事が出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示した、器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の成り立ちと病態の概要を理解できる 器官別（消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療について十分な知識を得る事が出来る、については、定期試験（100%）
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	人体の構造と機能および疾病の成り立ち 疾病の成り立ち	田中清 他	中山書店	ISBN978-4-521-74286-1
2				1
3				

上記教科書を準備すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため適宜プリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	社会福祉概論						担当教員	頼尊 恒信
講義コード	1401170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	134NUT213							

授業概要

本講義は、高齢者、障害者、児童などの福祉に関する個別のトピックをとりあげながら、社会福祉の歴史、現状、課題について考察する。とりわけ、本講義では、社会福祉の理念や意義、社会福祉の法体系や制度、サービス等を中心に、社会福祉の基礎を学ぶ。

到達目標

- 1) 現代の社会福祉における福祉の対象と、それらを取りまく社会福祉の法制度が、いかなるものであるのかを理解する。
- 2) ニュースや新聞等、身近な社会福祉のトピックに興味をもち、本講義で学んだことを活かしながら現代の社会福祉のあり方について論じることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末試験(論述問題)
レポート課題		
上記以外	30	毎授業提出のレスポンス・ペーパー

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義資料については、授業時に配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	三訂社会福祉概論	宇山勝儀・森長秀	光生館	ISBN 978-4-332-60096-1
2	新・社会福祉とは何か 第2版	大久保秀子	中央法規	ISBN 978-4-8058-3967-6
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食品衛生学						担当教員	遠藤 弘史
講義コード	1401400	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	234NUT271							

授業概要

食品に求められる最も重要な条件は安全性である。食品の生産から加工、流通、貯蔵、調理を経て人に摂取されるまでのあらゆる段階において、食品は変質する可能性、有害物質や有害生物に汚染される可能性をもつ。衛生上の危害の発生要因として、食品の変質、食中毒、食品による感染症、食品中の汚染物質について理解することが本講義のねらいである。また、食品添加物や残留農薬を題材として、食品の安全性確保と安全性評価について解説する。以上の正しい科学的知識の習得に加え、リスクアナリシスの理論など食品の安全性の考え方、衛生管理の考え方についても解説する。

到達目標

- (1) 食品衛生に関するリスクアナリシス、法規を説明できる
- (2) 食中毒の種類、原因、汚染源、予防法を説明できる
- (3) 食品中汚染物質の種類、原因、汚染源、予防法を説明できる
- (4) 食品添加物の安全性、分類、用途を説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)～(4)について、筆記試験を行う
レポート課題		
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 食品衛生学 第2版	西島基弘・山本茂貴(編)	建帛社	978-4-7679-0589-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食品衛生学実験						担当教員	遠藤 弘史
講義コード	1401410	単位数	1	開講期	後期集中	授業方法	実	
ナンバリング番号	334NUT376							

授業概要

食品衛生に関する分析を行うことにより、食品の安全性に関わる試験・検査法の基本原理や方法の概要について理解を深め、食品の安全性確保の重要性を学ぶことが、本講義のねらいである。本講義では、生菌数検査、大腸菌群の検査といった衛生微生物試験、着色料や保存料を定性、定量する食品添加物試験、食品の変質を調べる安全性試験を実施する。

到達目標

- (1) 食品衛生学実験を準備し、遂行できる
- (2) 実験器具を正しく操作することができる
- (3) 実験原理、測定方法を説明できる
- (4) 分析で得たデータを解析し、まとめることができる
- (5) 分析を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	100%	到達目標(1)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(2)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(3)について、レポートで評価する(20%)
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学衛生学を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品学総論						担当教員	佐野 光枝
講義コード	1401420	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	134NUT131							

授業概要

食品がもつ最も重要な機能は、生命活動の維持および健康の維持に必要な栄養素を供給することである。このことを踏まえ、食品成分（栄養素、嗜好性成分、機能性成分等）の種類、構造、性質に関する基礎知識を習得することが、本講義のねらいである。また、調理・加工による食品成分の変化について扱うとともに、日本食品標準成分表の利用に関する理解を深めるための講義も行う。

到達目標

- (1) 栄養素の種類を分類できる
- (2) 食品機能について説明できる
- (3) 各食品成分の種類、構造、性質、変化、生理機能を説明できる
- (4) 食品成分表の利用について説明できる
- (5) 食品機能と健康との関連について自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1)～(4)について、論述式試験を行う
レポート課題	20%	到達目標(5)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	30%	到達目標(1)～(4)について、小テストを行う

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準食品学総論	青柳康夫・筒井和己	医歯薬出版	978-4-263-70663-3
2	日本食品標準成分表2020年版(八訂)	文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告	全国官報販売協同組合	9784904225288
3	日本人の食事摂取基準2020年版	伊藤 貞嘉、佐々木 敏	第一出版	978-4-8041-1408-8

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校で化学および生物が履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品加工実習						担当教員	佐野 光枝
講義コード	1401430	単位数	1	開講期	後期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	334NUT332-C							

授業概要

加工食品の製造を通じて、食品の加工および保蔵の科学的原理を学ぶことにより、食品加工および衛生管理の意義・目的を実践的に理解する。また、大規模製造工場での講義および見学を通じて、食品工業における食品製造の意義・目的を理解する。

到達目標

- (1) 実習を準備し、遂行できる
- (2) 食品加工・保蔵および衛生管理の原理と方法を説明できる
- (3) 食品加工にともなう食品成分の変化を説明できる
- (4) 実習を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる
- (5) 食品工業における食品製造の意義・目的を説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標で示す(1)実習を準備し、遂行できる、については、実習ノート(20%)および手技の観察(20%)で評価する。(2)食品加工・保蔵および衛生管理の原理と方法を説明できる、(3)食品加工にともなう食品成分の変化を説明できる、(4)実習を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる、(5)食品工業における食品製造の意義・目的を説明できる

日程調整に伴い、授業計画の一部を変更することがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品加工学実験書	森孝夫	化学同人	978-4759809299
2				
3				

前提学力等

食品学総論、食品機能科学、食品の調理と加工、食品衛生学が履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品基礎実験						担当教員	中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1401440	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実	
ナンバリング番号	134NUT232							

授業概要

実験の心得を十分に熟知した後、実験の目的および食品の分析・解析を行うための分析原理・技術を正しく理解し、基礎的な実験操作を習得する。食品の主成分の定性定量分析を行い、食品の持つ物理的・化学的性質を具体的に認識する。

到達目標

- (1) 実験を安全に遂行することができる
- (2) 事前に実験の予習と準備を行うことができる
- (3) 実験の原理、実験に必要な注意事項を理解できる
- (4) 適切に実験ノートを書くことができる
- (5) 実験器具を正しく扱い、速やかに試薬を調製することができる
- (6) レポートを適切に作成することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(6)に対して4段階で評価する A: 適切なレポートである B: 修正の必要があるがレポートとして評価に値する
上記以外	50	到達目標(1)～(5)に対して3段階で評価する A: 十分な準備ができており、内容を理解できている B: ある程度の準備ができており、内容をある程度理解できている

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

初回授業時に授業資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

初回の授業で冊子を配布する

前提学力等

履修資格

講義名	食品機能科学						担当教員	佐野 光枝
講義コード	1401450	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	134NUT231							

授業概要

日本人の食事摂取基準に基づいた栄養マネジメントを実施するためには、栄養素レベルを食品レベル、料理レベルに置き換える能力、各料理区分の栄養成分の特徴を踏まえて料理から栄養素摂取量を推定する能力が必須となる。このことを踏まえ、食品素材ごとに構成成分の特徴および調理・加工による変化について理解することが本講義のねらいである。

到達目標

- (1) 食品素材の種類を分類できる
- (2) 各食品素材の構成成分について、構造、特性、利用、機能、変化を説明できる
- (3) 食品表示について説明できる
- (4) 各栄養素の供給源となる食品素材について説明できる
- (5) 食品素材と健康との関連について自分の考えを説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標(1)～(4)について、論述式試験を行う
レポート課題	40%	到達目標(4)について、食事調査結果の解析に関する課題を課す。 到達目標(5)について、自らの考えを問うためのレポートを課す。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品学各論 第3版	澤野勉	医歯薬出版	978-4-263-70733-3
2	日本食品標準成分表2020年版(八訂)	文部科学省科学技術・学術審議会 資源調査分科会報告	全国官報販売協同組合	9784904225288
3	日本人の食事摂取基準(2020年版)	伊藤 貞嘉、佐々木 敏(監修)	第一出版	978-4-8041-1408-8

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

食品学総論が履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品機能科学実験							担当教員	佐野 光枝
講義コード	1401460	単位数	1	開講期	後期集中	授業方法	実験		
ナンバリング番号	234NUT331								

授業概要

食品の一般成分分析を行うことにより、食品成分に関する理解を深め、日本食品標準成分表に示される数値の意味を理解することが、本講義のねらいである。併せて、食品成分の定量分析に関する原理を理解し、基本的な実験技術を習得する。本講義では、食品試料を用いて水分、たんぱく質、脂質、灰分、ビタミン、ミネラルの測定分析を行い、エネルギー、炭水化物の含量も算出する。

到達目標

- (1) 食品分析実験を準備し、遂行できる
- (2) 実験器具を正しく操作することができる
- (3) 実験原理、測定方法を説明できる
- (4) 食品分析実験で得たデータを解析し、まとめることができる
- (5) 食品分析実験を介して疑問を呈し、文献等を調べ、論理的に説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	60%	到達目標(3)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(4)について、レポートで評価する(20%) 到達目標(5)について、レポートで評価する(20%)
上記以外	40%	到達目標(1)について、実験ノートおよび手技の観察で評価する(30%) 到達目標(2)について、手技の観察で評価する(10%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

食品成分表 2020 (8訂)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品学実験	橋本俊二郎(編)	講談社	978-4061398290
2	栄養士・管理栄養士をめざす人の実験プライマリーガイド	倉沢新一 ほか	化学同人	978-4759811377
3				

前提学力等

食品学総論、食品機能科学、食品基礎実験を履修済みであることを前提とした講義を行う。

履修資格

講義名	食品の調理と加工						担当教員	遠藤 弘史
講義コード	1401470	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	234NUT234							

授業概要

人は食品から栄養素を体内に取り入れることで生命を維持している。個々の食品素材から栄養素を安全に美味しく、かつ効率よく吸収できるように摂取するためには工夫がいる。人はそのため工夫を凝らし、試行錯誤の末に一連の操作・技術を確立してきた。これらを調理あるいは加工と呼んでいる。本講義では、調理の手法や加工の技術の基本を、食品素材の構成成分あるいはそれらの集合体としての食品の生物学的・化学的・物理学的特性およびその変化を通して理解すると同時に食生活の実践の場でその知識を応用しうる能力を養う。
*本講義では教科書と配布資料を使用する。講義の範囲を教科書のページ数で指示するので予習、復習の参考にすること。教科書については 新しい食品加工学（加と略す）、調理学（調と略す）

到達目標

- (1) 食品素材（成分）の化学的・物理学的性質・特性に基づいた調理・加工特性を理解する。
- (2) 授業で得た知識を実生活（調理・加工の現場）で応用できる能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	定期試験成績を全体評価の70%に充てる。
レポート課題	30%	毎回の講義における内容の理解度をレポート、小テスト等により評価。全体成績評価の30%をこれを充てる。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新しい食品加工学 食品の保存・加工・流通と栄養	小川 正他	南江堂	978-4-524-25561-0
2				5-0
3				

他の講義（食品学）や実習（調理実習）で使用する「日本食品標準成分表2020（8訂）」を常に本講義においても携行し参考にすることが望ましい

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食品微生物学						担当教員	
講義コード	1401480	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	234NUT236							

授業概要

食品微生物学は (a) 食品の加工、製造に関する微生物、(b) 食品保存中の変質をもたらす微生物、および (c) 食品衛生に関する微生物を対象とする学問である。本講義では、このような微生物についての基礎的な概念や知識を体系的に解説し、さらに食品の品質劣化に関わる微生物の制御や、食品製造における微生物利用、微生物における遺伝情報の流れとその利用技術の基礎について講義する。

到達目標

(1) 食に関わる微生物の種類、生育・代謝の概要を知ることができる。(2) 微生物を利用した食品加工・製造を理解することができる。(3) 食品の品質劣化に関わる微生物と、食品の品質管理における微生物制御の方法を理解することができる。(4) 微生物における遺伝情報の流れとその利用技術の基礎を理解することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業時間数3分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食品微生物学	村田容常・渋井達郎編	東京化学同人	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	応用微生物学・改訂版	村尾澤夫、荒井基夫共編	培風館	
2				
3				

必要に応じて参考となる資料を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	心理学基礎						担当教員	谷口 友梨
講義コード	1401540	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD105, 134NUT106, 135PSY201							

授業概要

現代心理学の基本的なテーマについて解説する。人間の行動の仕組みや行動の予測、制御のメカニズム、人間発達の原理や人格形成の理論などのテーマをとりあげる。心理学的なアプローチにより人間を理解しようとするための基礎的な知識や考え方を身に着けることを目的とする。

到達目標

- (1) 人の思考や行動、社会生活などを支える心の仕組みの基礎について理解を深める。
- (2) 人の心の仕組みを明らかにし、社会に活かそうとする科学的なアプローチについて理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	授業でとりあげたトピックについての課題認識および心理学の多様な内容と方法への理解によって評価する。
レポート課題		
上記以外	30%	授業の内外で提出を求める課題によって、受講者なりの理解や問題設定ができているかを評価する。

授業時に実験や質問紙調査などの心理学的な研究手法の体験学習をとり入れることがあるので、積極的な参加を求める。

授業外学習

参考書や授業中に紹介する資料・ウェブサイト等を読み、授業内容についてより深く理解できるように努めることが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	心理学・入門 - 心理学はこんなに面白い - 改訂版	サトウタツヤ・渡邊芳之	有斐閣	9784641221383
2				
3				

授業中に講義資料を配布し、それを使用しながら授業を展開する。また、各回のテーマごとに、適宜、授業中に参考書を紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	スポーツ栄養学						担当教員	中井 直也
講義コード	1401541	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	334NUT324							

授業概要

スポーツパフォーマンスを最大限に発揮するためには、適切な栄養摂取が欠かせない。体づくりと栄養およびスタミナと栄養の関係を中心に、スポーツ栄養学を科学的根拠に基づき解説する。

到達目標

- (1) 体づくり、スタミナ向上に好ましい栄養摂取法について説明できる。
- (2) 疲労の予防と回復に好ましい栄養摂取法について説明できる。
- (3) 体脂肪減少のための運動と栄養摂取法について説明できる。
- (4) 栄養サプリメントの効果を科学的に理解し、その摂取法を提案できる。
- (5) 最近のスポーツ栄養学のトピックスについて、理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	到達目標(1)～(4)について知識と理解度について評価する。 到達目標(1)～(4)の知識をもとに、スポーツにおける栄養摂取について自ら提案することができる。
レポート課題	20	授業時に提示する課題(発表を含む)
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スポーツと健康の栄養学	下村吉治	ナッブ	978-4-905168-52-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	栄養科学イラストレイテッド 運動生理学	麻見直美、川中健太郎編	羊土社	978-4-7581-1356-4
2				
3				

授業で使用した資料はTeamsにアップロードする

前提学力等

履修資格

講義名	生活栄養論演習 a						担当教員	学科教員 / 福渡 努 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1401542	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	434NUT401							

授業概要

教員が指導するセミナーに参加し、卒業研究に関連する国内外の新しい知見や情報を収集・整理して紹介するとともに、卒業研究の計画、進捗状況などを報告し、それらに関する討議を行う。また、発表用資料の作成を通じて、論文作成能力とプレゼンテーションの能力を養う。

到達目標

- (1) 卒業研究に関連する国内外の新しい知見や情報を収集・整理し、紹介することができる
- (2) 卒業研究の計画、進捗状況などを報告、討議することができる
- (3) 発表用資料を作成し、プレゼンテーションすることができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活栄養論演習 b						担当教員	学科教員 / 福渡 努 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1401544	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	434NUT402							

授業概要

生活栄養論演習 aに引き続き、教員が指導するセミナーに参加し、卒業研究に関連する国内外の新しい知見や情報を収集・整理して紹介するとともに、卒業研究の計画、進捗状況などを報告し、それらに関する討議を行う。また、発表用資料の作成を通じて、論文作成能力とプレゼンテーションの能力を養う。

到達目標

- (1) 卒業研究に関連する国内外の新しい知見や情報を収集・整理し、紹介することができる
- (2) 卒業研究の計画、進捗状況などを報告、討議することができる
- (3) 発表用資料を作成し、プレゼンテーションすることができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活栄養論演習						担当教員	学科教員 / 福渡 努 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1401546	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	334NUT392							

授業概要

生活栄養学科で履修する専門基礎分野と専門分野の各科目をトータルに捉え、生活栄養学科の教員の研究テーマにそって、課題に向けた研究計画や研究方法をアレンジする。そのことによって、人間健康学に関わる各科目を横断し、人の栄養および健康状態を評価し、管理していく上で必要とされる様々な知識や技術を習得する。

到達目標

生活栄養学科の管理栄養士履修専門科目の総合的な理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

生活栄養学科専門科目のほとんどの科目の履修を済ませておくこと

履修資格

講義名	生活経営論/						担当教員	山田 歩
講義コード	1401560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333MKD282, 234NUT371, 335LAH308							

授業概要

私たちを取りまく生活環境を学び、私たちの生活をよりよくマネジメントする力とそれらを改善する力を身につけます。授業の前半では、ソーシャルデザインの考え方を事例を通して学びます。後半では、実際に身の回りの生活課題を見つめ直すとともに、それらを解決するアイデアを自ら考えます。

到達目標

1. 私たちを取りまく生活環境を理解したか
2. 生活者が抱える課題を発見し、それらを解決する力を身につけたか

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	社会や生活者が抱える課題を発見する力、また、それらを解決する力について評価する。
上記以外		

3回以上欠席した場合、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アイデアは地球を救う。希望をつくる仕事 ソーシャルデザイン	ソーシャルデザイン会議実行委員会	宣伝会議	
2	Communication Shift	並河進	羽鳥書店	
3	ソーシャルデザイン	グリーンズ	朝日出版社	

前提学力等

履修資格

講義名	生体の構造と機能						担当教員	矢野 仁康
講義コード	1401730	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	134NUT241							

授業概要

人体の構造としての骨格系、筋肉系、神経系、循環器系、消化器系、感覚器系、生殖器系の成り立ちを臓器レベル、組織レベル、細胞レベル、分子レベルにおいて理解し、その機能発現の仕方を学ぶ。また、人体の形態、構造と機能の関係を正しく理解できるように、図を用いて人体に関する基礎知識をわかりやすく講義する。

到達目標

正常な身体の構造を知り、その機能が理解できる
 人体を機能的・臓器別に分類し、その構造と仕組みが理解できる
 解剖学と生理学の知識の融合により、人体の構造と機能が総合的に理解できる
 体の構造と働きに関する基礎知識や考え方を通して、臨床医学の理解が可能となる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示した、正常な身体の構造を知り、その機能が理解できる 人体を機能的・臓器別に分類し、その構造と仕組みが理解できる 解剖学と生理学の知識の融合により、人体の構造と機能が総合的に理解できる 体の構造と働きに関する基礎知識や考え方を通して、臨床医学の理解が可能となる、については、定期試験(100%)で
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	人体の構造と機能および疾病の成り立ち 解剖生理学 解	福島光夫 編	中山書店	ISBN978-4-521-74284-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため單元ごとにプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	生命科学と人間						担当教員	福渡 努
講義コード	1401740	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	334NUT311							

授業概要

1～3年生時に学んだ栄養化学、栄養生理学、分子栄養学、食品機能科学、基礎栄養学、応用栄養学を踏まえ、栄養、食習慣、食行動と健康との関わりを総合的に捉えることが本講義のねらいである。食品中の栄養素が消化、吸収、代謝され、生理作用を発揮するために、様々な制御・調節機構が働いている。本講義では、分子レベル・細胞レベルで栄養素と生体が相互作用することによって情報伝達が始まり、恒常性を維持するためにその情報が臓器さらには生体全体における制御・調節機構に果たす役割について解説する。

到達目標

- (1) 栄養素の消化・吸収・代謝について、要点をまとめ、論理的に分かりやすく説明できるようになる。
- (2) 栄養素が関与する情報伝達機構について、要点をまとめ、論理的に分かりやすく説明できるようになる。
- (3) 栄養素の恒常性維持に関わる制御・調節機構について、要点をまとめ、論理的に分かりやすく説明できるようになる。
- (4) 科学的根拠に基づいて日本人の食事摂取基準を柔軟に活用することができるようになる。
- (5) 先制医療に対する栄養学の貢献について、自分の考えを論理的に分かりやすく説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	到達目標 (1) について、論述試験を行う (20%) 到達目標 (2) について、論述試験を行う (20%) 到達目標 (3) について、論述試験を行う (20%)
レポート課題	15	到達目標 (5) について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す (15%)
上記以外	10	到達目標各項目について、毎回、レスポンスシートを課す。

講義時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

やみくもに丸暗記するのではなく、講義内容を構造化、体系化して理解し、人に説明できるようにすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	分子栄養学	金本龍平 編集	化学同人	4-7598-1214-8
2	日本人の食事摂取基準2020年版	伊藤貞嘉, 佐々木敏 監修	第一出版	978-4-8041-1408-8
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マッキー生化学 第6版	市川厚 監修	化学同人	978-4759819434
2	細胞の分子生物学 第6版	中村桂子・松原謙一 監訳	ニュートンプレス	978-4315520620
3				

適宜、教科書を補うためのプリント配布を行う。

前提学力等

履修資格

講義名	専門外書講義						担当教員	桑原 頌治 / 畑山 翔 / 田中 大也
講義コード	1401781	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	334NUT391							

授業概要

栄養学分野の研究内容について理解を深めるとともに、英文の読解力を養うことを目的とする。栄養学分野の専門学術雑誌に掲載されている英文科学論文を教材として、予習を前提としたうえで、担当教員が解説を行う。

到達目標

栄養学分野の専門学術雑誌に掲載されている英文科学論文から必要な情報を引き出すための基礎的な読解力を身につけること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	講義の進捗に応じてレポートを適宜課す。
上記以外	20	講義の進捗に応じて小テストを適宜課す。

講義時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

英和辞書を持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・論文（生活栄養）						担当教員	学科教員 / 福渡 努 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1401811	単位数	4	開講期	前期研究	授業方法	演	
ナンバリング番号	434NUT403							

授業概要

教員の指導のもとに研究課題を設定し、研究課題についての実験・調査を行なう。具体的には、健康の発展に寄与する先進的な研究課題を選択し、それについて世の中の動向・進展・問題などについて調べ、研究課題の内容を把握し、研究課題達成に向けての研究計画を立てる。研究計画に沿った、実験・調査による研究を行い、それらを取りまとめる。

到達目標

- (1) 研究目的と研究計画の妥当性について説明することができる
- (2) 研究内容の根拠の客観性・実証性について説明することができる
- (3) 得た研究成果について、卒業論文としてまとめることができる
- (4) 得た研究成果について、プレゼンテーションし、質疑応答することができる
- (5) 課題達成のため主体的に研究に取り組むことができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年次までの生活栄養学科の学科専門科目をすべて修得もしくは履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	卒業研究・論文（生活栄養）						担当教員	学科教員 / 福渡 努 / 佐野 光枝 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 /
講義コード	1401815	単位数	4	開講期	後期研究	授業方法	演	
ナンバリング番号	434NUT404							

授業概要

教員の指導のもとに研究課題を設定し、研究課題についての実験・調査を行なう。具体的には、健康の発展に寄与する先進的な研究課題を選択し、それについて世の中の動向・進展・問題などについて調べ、研究課題の内容を把握し、研究課題達成に向けての研究計画を立てる。研究計画に沿った、実験・調査による研究を行い、それらを取りまとめる。

到達目標

- (1) 研究目的と研究計画の妥当性について説明することができる
- (2) 研究内容の根拠の客観性・実証性について説明することができる
- (3) 得た研究成果について、卒業論文としてまとめることができる
- (4) 得た研究成果について、プレゼンテーションし、質疑応答することができる
- (5) 課題達成のため主体的に研究に取り組むことができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

3年次までの生活栄養学科の学科専門科目をすべて修得もしくは履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	地域保健臨地実習						担当教員	今井 絵理
講義コード	1402040	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT381							

授業概要

学外（地域保健活動の第一線機関である保健所や市町村保健センター）において、多職種との関わり方や住民の保健増進のために実施されている事業を通して、地域保健の全体像および組織の中での健康づくり対策の実際を学ぶ。

到達目標

- (1) 行政栄養士と連携した多職種との活動が理解できる。
- (2) 地域保健活動の実践現場で、行政栄養士の果たす役割が理解できる。
- (3) 保健所、保健センターの役割・業務の概要と両者の関係を説明できる。
- (4) 県と市町村をつなぐ保健所栄養士の役割が理解できる。
- (5) 地域住民の健康、福祉等に関わる業務内容とその主な役割を説明できる。
- (6) 地域住民を対象とした健康教育、例えば「健康・栄養教室」等の企画、広報、実施、評価、フィードバック等の一連のプロセスを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外		

実習に欠席した者は評価対象としない。

授業外学習

初回講義時に担当教員が説明する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 公衆栄養学実習ワークブック	徳留裕子・東あかね 編	みらい	9784860153748
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	天然物化学基礎						担当教員	遠藤 弘史
講義コード	1402280	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	134NUT105, 135LAH205							

授業概要

高校で学習する「化学」の内容も含め、無機化学・有機化学・物理化学・分析化学・生化学の基礎的な内容について、身近な「食生活」を中心テーマとして学習する。

到達目標

- 1 化学構造式を用いて分子の表現と理解が出来る
- 2 様々な化学反応について理解し熱力学的な説明ができる
- 3 物質の物理化学的動態の基本が理解できる
- 4 基本的な酵素反応が理解できる
- 5 食品成分の構造およびその化学的变化について理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標にある 1. 化学構造式を用いて分子の表現と理解が出来る 2. 様々な化学反応について理解し熱力学的な説明ができる
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食を中心とした化学	北原重登 他	東京教学社	978-4-8082-3053-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	統計学基礎						担当教員	高梨 克也
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203							

授業概要

最近ではパソコンやソフトウェアのおかげで、実用的な統計は数式を意識しなくても気軽に扱えるようになってきた。にもかかわらず、いざデータを手にとると、どこから分析を始めればいいのかとまどう人が多い。あるいは、データをとってしまってから、データのとり方について後悔することもある。実はこうした問題はたとえ数式を暗記していても解決しない。では、そもそもなぜそのデータに対して統計的分析を行なう必要があるのか。そのデータにはどんな性質があり、どのような手法を用いるべきか。どんな手法を使うとどんな結果を得ることができるのか。本講義では、これらの疑問点を意識しながら、統計学の基本的な考え方や概念から出発して、推定や検定といった、多く用いられる統計学の手法の考え方の基礎を理解するところまで到達することを目指す。

注意

定員は原則150名までとする。定員を超える受講希望者があった場合には、抽選により受講者の選考を行う（前年度の受講登録者数は143名だったので、必ず抽選になるとは限らない）
 抽選の場合、科目の性質上、学年の若い学生（特に1年生）と社会調査士資格取得希望者を優先する。
 一部の登録者には新入生の受講登録締切後すぐの時期にメールで連絡する可能性があるため、メールに注意しておくこと。
 抽選が行われた場合、選考結果は4/22(金)までに掲示、並びに、USPに掲載するとともに、抽選に外れた学生にはメールでも個別に連絡する。

到達目標

- (1) 記述統計の基本的な使い方を習得する。
- (2) 母集団と標本の概念を理解する。
- (3) 推定と検定の基本的な考え方や手順を身に付ける。
- (4) 日常生活で用いられる統計学的な考え方に興味を持ち、検証する態度を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100%	小テストまたはレポート（随時）：各回で扱った統計学的知識を理解できているかを問う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	統計学わかりません!!	五十嵐中・佐條麻里	東京図書	978-4489023392
2	統計嫌いのための心理統計の本：統計のキホンと統計手法の選び方	白井祐浩	創元社	978-4422116259
3	よくわかる心理統計	山田剛史・村井潤一郎	ミネルヴァ書房	978-4623039999

前提学力等

履修資格

講義名	統計学基礎							担当教員	高梨 克也
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203								

授業計画										
回数	テーマ	概要					予習 / 復習			
第1回	イントロダクション	この授業の狙いと進め方の特徴					2	統計について各自が知っていること	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第2回	尺度	データの性質の違いによって用いる手法が異なることを知る					2	世の中にあるさまざまな数値の例を	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第3回	要約統計量：代表値と散布度	データの傾向を1つの値で表現する					2	平均値や中央値などの代表値について	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第4回	適切なグラフの選択	データの性質と伝達目的を考慮する					2	高校までに習ったグラフやテレビや	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第5回	さまざまなグラフを読み解く	さまざまなタイプのグラフから情報を的確に読み取る					2	前回の授業で紹介したのと同じ種類	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第6回	確率論の基礎	推定や検定に必要な基礎知識を確認する					2	確率について、高校までに習った内	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第7回	推測統計と標本抽出	推定や検定に必要な基礎知識を導入する					2	標本抽出について、各自がこれまで	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第8回	ヒストグラムと正規分布	ヒストグラムと正規分布の性質を理解する					2	TVや新聞などでヒストグラムの事例	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第9回	標本抽出と正規分布	「標本データから推理する」という考え方を理解する					2	第7回の標本抽出と第8回の正規分布	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第10回	仮説検定と帰無仮説	統計的仮説検定の基本的な考え方と手順を理解する					2	各自が生活の中で実際に経験したこ	1	
								次回授業までに、講義資料の内容を	3	
第11回	クロス集計とカイニ乗検定	質的変数の差と関連性を知る方法					2		0	
								次回授業までに、講義資料の内容を	4	
第12回	平均の差の検定	質的変数と量的変数の間の関連性を確かめる方法					2		0	
								次回授業までに、講義資料の内容を	4	
第13回	相関係数と偏相関係数	量的変数同士の関連性を調べる方法					2		0	
								次回授業までに、講義資料の内容を	4	
第14回	回帰分析の基礎	収集したデータに基づく予測や説明を試みる					2		0	
								次回授業までに、講義資料の内容を	4	
第15回	変数のコントロール	変数の関連性に影響する他の変数を考慮する					2		0	
								1週間以内に、講義資料の内容を再	4	

担当者から
この授業では、多くの人が持っているであろう「統計学 = 数学」というイメージを覆すことを目指しています。ですので、数式を暗記したり、たくさんの計算をしたりということはしません。統計学の中の基本的な手法を取り上げて、「何のためにその方法があるのか」や「その方法はどのよう

講義名	人間文化論 A						担当教員	中井 直也 / 印南 比呂志 / 森下 あおい / 京樂 真帆子 / 福渡 努 / 松嶋 秀明 / 佐々木 一泰 / 上野 有理 / 中村 好孝 /
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102							

授業概要

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された。そこで掲げられたのが「持続可能な開発目標（SDGs）」である。「誰一人取り残さない」社会の実現のため、17の目標を設定し2030年に向けて実行することが宣言された。

本講義では、このSDGsをキーワードとし、人間文化学部を構成する5学科（地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科）に所属する専門領域の異なる教員同士の対談や、学科を超えた学生同士の議論等を行う。これらの取り組みを通して、自身の専門とする学問領域と他の学問領域との関連性や相違点を確認しながら、自身の専門とする学問領域の独自性や可能性を探りつつ、総合的かつ多角的な視野から「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて考察を深める機会を提供する。

到達目標

- (1) 自身の専門とする学問領域と他の学問領域との関連性と相違点を検討することができる。
- (2) 自身の専門とする学問領域の独自性や可能性を探ることができる。
- (3) 総合的かつ多角的な視野から「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて考察することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	35	ワークショップ課題（詳細については講義中に説明する）
上記以外	65	講義中に提出するレスポンスペーパー（詳細については各回の担当教員より説明する）

追加の情報等がある場合には講義中に説明するので、必ず確認すること。

授業外学習

特にワークショップ関連の予習・復習にしっかり取り組むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、適宜、必要な資料を授業中に配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

適宜、授業中に紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論B						担当教員	櫻井 悟史 / John Rippey / 木村 可奈子 / 高木 純一 / 未定*
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103							

授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」
文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	ミニレポートもしくは小テストに対する採点
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論 C						担当教員	宮本 雅子 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 遠藤 弘史 / 横田 尚美 / 未定 *
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203							

授業概要

人間文化論Cでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題について考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系3学科(生活デザイン・生活栄養・人間関係)教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。
この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について5回講義する(宮本・横田)。次に、現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を取りあげながら、健康を維持・増進するための食生活について5回講義する(生活栄養学科教員)。さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになろうとしているかという現代家族論を5回講義する(松嶋・中村)。

到達目標

(宮本・横田)(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす人体を含む環境への影響に関心を持つことができる。
(生活栄養学科教員) 現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を踏まえ、健康を維持・増進するための食生活について理解することができる。
(松嶋・中村)(1)家族をみるための視点を身につけることができる。(2)現代的社会問題を家族との関連で理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	病態生理学実習						担当教員	矢野 仁康 / 遠藤 弘史 / 田中 大也
講義コード	1402750	単位数	1	開講期	後期実習	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT347							

授業概要

栄養状態とその異常を生理、生化学的に把握する方法論を実習することにより、栄養と疾患との関係の理解を深める。ヒトの細胞からの蛋白質・核酸の抽出法やその解析法を学ぶ事で、栄養学に不可欠な蛋白質・核酸の代謝について理解する。視聴覚資料を用いて人体の構造についての理解を深める。

到達目標

細胞からの蛋白質・核酸の抽出法やその解析法を学ぶ事で、栄養学に不可欠な蛋白質・核酸の代謝について理解できる
 口腔細胞から自身の核酸を抽出して、PCRを行う事で現在様々な分野で用いられる遺伝子解析についてその原理や手法を理解できる
 視聴覚資料を用いて人体の構造についての理解ができる
 臨床医学の実践活動に重要な疾病の成り立ちを実験を通して理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習への参加とレポートを総合して評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	疾病の成り立ち							担当教員	矢野 仁康
講義コード	1402761	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授		
ナンバリング番号	234NUT245								

授業概要

疾病とは何か、人はいかにして病気を発症するかを学ぶ。様々な疾患において内因性要素、外因性要素の関わりを理解し、発症から病態形成の過程を学ぶ。いわゆる生活習慣病や栄養代謝疾患、消化器疾患、免疫アレルギー疾患、感染症等について、その発症の過程、診断方法などを講義する。各種疾病を理解すると共にそれらに対する臨床医の考え方、方法論を理解することが求められる

到達目標

器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の成り立ちと病態の概要を理解できる 器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療について十分な知識を得る事が出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標で示した、器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の成り立ちと病態の概要を理解できる 器官別（腎尿路、造血器、免疫・感染症、運動器、神経系）に疾病の診断・治療の概要を理解できる 臨床医学の実践活動に重要な、疾病の成り立ちと病態評価と治療について十分な知識を得る事が出来るについては、定期試験
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	人体の構造と機能および疾病の成り立ち 疾病の成り立ち	田中清 他	中山書店	ISBN978-4-521-74286-1
2				
3				

上記教科書を準備すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の理解を深めるため適宜プリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	分子生物学基礎						担当教員	佐野 光枝
講義コード	1402990	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	134NUT141							

授業概要

生命を分子や遺伝子のレベルでとらえる分子生物学の発展は目覚ましく、ヒトのゲノム解読が終了してなお、我々の生命現象を解明するために残された多くの課題について日々研究が進められている。本授業は、食物から摂取する栄養素や食品成分が分子レベルでどのように働くかを分子生物学的見地から解説する。講義は基本的な遺伝子のメカニズムから疾病と遺伝子や栄養素との関係まで幅広く取り扱う。

到達目標

- (1) 分子生物学の基礎を理解する
- (2) 分子生物学の視点から代謝、疾病や栄養について理解する
- (3) 分子栄養学や遺伝子技術の応用について理解し、説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標(1)～(3)について試験を行う。
レポート課題	20	(2)についてレポートを課す。
上記以外	30	到達目標(1)について小テストを行う。

授業時間の数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

なし

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	分子栄養学	加藤久典, 藤原葉子編	羊土社	978-4-7581-0875-1
2				
3				

適宜、教科書を補うためのプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

なし

前提学力等

なし

履修資格

講義名	臨床栄養学						担当教員	辰巳 佐和子
講義コード	1403130	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	234NUT351							

授業概要

近年、医学、医療の進歩はめざましい。疾病予防/治療においての栄養管理の重要性は臨床現場でも広く認識されている。適切な栄養管理を実施するためには傷病者の病態や医学的治療の状況を十分に理解した上で、さらに患者の栄養代謝状態の評価を行い、栄養管理の計画を立てる必要がある。そして、栄養管理を実施した後、評価し、栄養管理のエビデンスを確立し、より良い栄養管理を目指さなければならない。そのため、臨床栄養学 I では、「栄養管理の基礎」を中心に講義する。

到達目標

臨床栄養学を実践するための基本的技術となる傷病者の身体状況、病態、栄養状態に基づいた栄養管理の基礎を学ぶ。

- (1) 医療・福祉における管理栄養士の職務とチーム医療における役割が理解できる。
- (2) 栄養管理、栄養評価、栄養介入、栄養診断について理解し、説明できる。
- (3) 薬と栄養・食物の相互作用を理解し適切な食品が選択できる。
保健機能食品、サプリメント、治療用特殊食品について理解し、説明できる。
- (4) 栄養補給法の概説とそれぞれの長所・短所、適応疾患・症状を説明できる。また経腸・静脈栄養法で用いられる栄養剤・栄養食品と栄養管理法について説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	小テスト

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・臨床栄養学	竹谷 豊 他	講談社	978-4061553842
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	臨床栄養学						担当教員	辰巳 佐和子
講義コード	1403140	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	334NUT353							

授業概要

- 1) 各疾患の成り立ちや病態、病状等の実態を把握する。
- 2) 各疾患ごとの栄養パラメーターや臨床検査の結果を正しく理解する能力を身につける。
- 3) 各疾患ごとの現在の栄養療法について学ぶ。

医療の場における現状を踏まえ、臨床栄養師としてチーム医療に参画し、総合的なケアプランの中に占める栄養評価、栄養管理の方法について具体的な事例、実際の栄養食事指導例をもとに傷病者に対する栄養管理・栄養指導上の問題点を見だし、臨床における栄養治療について理解を深める。

到達目標

- (1) 各疾患の病態とその治療方針が理解できる。
- (2) 各疾患の病状の改善や治療・回復に効果的な栄養療法の基本方針を理解できる。
- (3) 各疾患の薬物療法について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	各疾患の病態、栄養管理に必要な生理学、栄養療法についての理解度を評価する。
レポート課題		
上記以外	30	確認テスト及び小テストにより理解度を評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

受講にあたって、各学会から示されている治療ガイドライン、診断基準など最新の治療指針を各学会のホームページやサイトより検索しておくことと理解しやすい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	糖尿病食事療法のための食品交換表第7版	日本糖尿病学会編	文光堂	978-4-8306-6046-7
2	腎臓病食品交換表 第9版 治療食の基準	黒川清監修	医歯薬出版	978-4-263-70674-9
3	新・臨床栄養学	竹谷 豊 ほか	講談社	978-4-06-155384-2

ポケット辞典を継続して使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する。

前提学力等

生体の構造と機能、疾病の成り立ちを履修していること。
また、臨床栄養学、臨床栄養学実習Ⅰを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	臨床栄養学						担当教員	辰巳 佐和子
講義コード	1403141	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	334NUT354							

授業概要

各疾患の成り立ちや病態、病状等の実態を把握するとともに、栄養パラメーターや臨床検査の結果などに基づいた栄養アセスメントにより、適切な栄養診断および栄養評価を行う。各疾患ごとに具体的な栄養治療計画を立案し、実践するための方法論について学ぶ。

医療・介護保険制度や特定保健指導など、医療サービスに関与する限り「費用対効果＝経済」を迫っていかなければならない。経済学的視点から臨床栄養学を学ぶ。また、栄養治療を円滑に進めるための栄養教育について、行動経済学的手法を組み入れて、患者心理との関係についても学び考える。さらに、在宅医療、地域連携と生活習慣病および介護の予防対策との関わりについて理解する。

到達目標

疾患ごとの病態、病因、栄養療法を理解し、栄養管理ができるための知識を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	各疾病の病態、栄養管理に必要な生理学、栄養評価、栄養療法、栄養教育などについての理解度を評価する
レポート課題		
上記以外	30	到達確認小テスト 8回目の講義で、確認小テストを行う。 7回目までの疾病についての、各疾病の病態、栄養管理に必要な生理学、栄養評価、栄養療法、栄養教育などについて

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新・臨床栄養学	竹谷 豊 他	講談社	978-4-06-155384-2
2				
3				

教科書の補足として資料を配布する場合がある。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨床栄養学実習書	塚原丘美 他	講談社	978-4-06-155393-4
2				
3				

前提学力等

臨床栄養学、臨床栄養学、臨床栄養学実習I、臨床栄養学実習IIを履修していることが望ましい。
栄養ケア・マネジメントの理解と各疾患における栄養食事療法が理解できていること。

履修資格

講義名	臨床栄養学実習						担当教員	辰巳 佐和子 / 安澤 俊紀
講義コード	1403151	単位数	1	開講期	後期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	234NUT352							

授業概要

管理栄養士として、臨床栄養管理に必要な技能の基礎を学ぶことを目的とする。

臨床栄養学実習Ⅰでは、1) 栄養評価、2) 栄養診断、3) 栄養管理計画、4) 実施、モニタリング 5) 栄養管理評価を一連の流れとして学ぶ。
また、この学びの中で他者とのコミュニケーション力、プレゼンテーション力も高めていけるように学習する。

到達目標

栄養ケアプロセスを実践するための基本的技術となる、食事計画の実践および栄養アセスメントに必要な栄養パラメーターについて理解し、適切な栄養アセスメント、栄養ケアプランへと応用できる。

- (1) 情報収集のための各調査の方法と評価ができる。
- (2) 各種栄養パラメーターを評価し、栄養ケアプランへと応用できる。PES報告ができる。
- (3) 栄養ケア・マネジメントの基礎的な知識を修得し、実践への応用(臨床栄養学)へと繋げることができる。
- (4) POSに基づいた、診療記録が書ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	各授業で実施される課題レポートおよびノートによる評価。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない等

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨床栄養管理ポケット辞典 3訂	松崎政三	建帛社	978-4767961958
2	臨床栄養学実習 第2版	塚原 丘美	講談社	978-4061553934
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	調理のためのベーシックデータ 第5版	松本 伸仔	女子栄養大学出版部	9784789503235
2	日本人の食事摂取基準 2020年版			
3	日本食品標準成分表2020年版(七訂)	文部科学省	全国官報販売協同組合	

コメント：参考書としていた、「調理のためのベーシックデータ 第5版」は、献立作成に利用できます。

前提学力等

履修資格

講義名	臨床栄養学実習						担当教員	辰巳 佐和子 / 桑原 頌治
講義コード	1403152	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	334NUT355							

授業概要

代表的な疾患の症例について、栄養管理計画（栄養診断・栄養アセスメント・栄養必要量の設定、食品構成、献立）を作成し、それぞれの具体的な栄養療法を復習・整理する。

到達目標

- (1) 栄養介入が特に重要な疾患について、症例検討をグループで行い、栄養管理プロセスを活用し「栄養評価」、「栄養診断」、「栄養介入」、「栄養モニタリングと評価」ができる。
- (2) 病態や身体機能に適した治療用特殊食品を選択することができる。
- (3) 糖尿病・腎臓病・糖尿病性腎症の食品交換表の概説でき、活用することができる。
- (4) 調理実習・試食により、制限の多い臨床調理における調理技術やその工夫を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	1) 実習内容をまとめ、考察をする。 2) 実習課題を実施し、考察をする 1)、2)の内容を評価する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	糖尿病食事療法のための食品交換表第7版	日本糖尿病学会編	文光堂	978-4830660467
2	腎臓病食品交換表第9版	黒川清	医歯薬出版	978-4263706749
3	臨床栄養学実習 第2版	塚原丘美	講談社	978-4061553934

臨床調理 第7版 玉川和子 医歯薬出版

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリント配布する等

前提学力等

臨床栄養学、臨床栄養学実習 を履修していることが望ましい。並行して臨床栄養学 の傷病者の病態と栄養状態に基づいた栄養ケアプロセスについて理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	臨床栄養活動論						担当教員	辰巳 佐和子 / 奥村 万寿美 / 今井 絵理 / 中出 麻紀子 / 大西 律子 / 中西 直子 / 未定*
講義コード	1403160	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	134NUT242							

授業概要

急増している生活習慣病について、第3次予防、第2次予防、第1次予防における生活習慣の改善に関する管理栄養士の活動について学ぶ。生活習慣病治療あるいは予防対策として自ら危険因子の軽減・除去および健康増進を図るヘルスプロモーションがすすめられている。治療を主とする医療分野において活動する管理栄養士についても幅広い医療人としての自覚と見識が求められている。臨床栄養活動の場を病院、診療所に限ることなく、学校、事業所、福祉施設、あるいは地域住民を含め健康の維持・増進施策、特に食生活の改善による疾病予防、あるいは疾病の増悪阻止、快復などにどのように対応していくのか学ぶ。

到達目標

- (1) 管理栄養士制度の歴史について説明できる
- (2) 管理栄養士の役割について説明できる
- (3) 世界の管理栄養士の活動について説明できる
- (4) 生命倫理について広い視野から考察できる
- (5) 管理栄養士の職業倫理について説明できる
- (6) 活躍する管理栄養士の様子を聞き、自分自身の職業感を考察できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		定期試験は行わない。
レポート課題	100	授業の内容をレポートにまとめて提出する
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨地・校外実習 第2版	塚原丘美 ら	建帛社	978-4-7679-0641-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	臨床栄養臨床実習							担当教員	辰巳 佐和子
講義コード	1403170	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習		
ナンバリング番号	334NUT382								

授業概要

臨床実習は、実践活動の場での課題の発見、解決を通じて、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技術を修得することを目的とする。

課題発見（気づき）・問題解決

- 実習施設での気づき
 - 栄養状態不良の患者が多いことに気づく。
 - 患者にとって食事がいかに大切で、楽しみなものであるかに気づく。患者への思いやりの気持ち。
 - 人により食事に対する考え方や感じ方が多種多様であることに気づく。
 - 予定外や予想外の出来事や要求に柔軟に対応する必要があることに気づく。
 - 医療において管理栄養士業務の大切さに気づく。
 - 入院から退院に至るまでの病状や栄養状態が刻々変化し、それに対応する必要性に気づく。

専門的知識と技術の統合

到達目標

傷病者の病態や栄養状態の特長に基づいた適正な栄養管理を行う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	施設からの課題および自主課題におけるレポート作成（50%）
上記以外	50	施設評価（各項目ごとに5段階で評価） <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間、指示、規則を守っていたか（10%） ・ 身だしなみが実習に適切であったか（10%）

臨床実習1単位を取得するためには、45時間が必要である。実習時間が不足すると単位が認められないことがあるので留意する。実習先における臨床・校外実習評価表も含めて評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

臨床栄養学実習書、臨床栄養学の教科書、臨床検査値の時点（ポケット辞典）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

臨床栄養学 ・ 臨床栄養学実習 、 臨床栄養学 ・ 臨床栄養学実習 を履修していること。

履修資格

講義名	臨床栄養臨床実習						担当教員	辰巳 佐和子
講義コード	1403180	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	334NUT383							

授業概要

臨床実習は、実践活動の場での課題の発見、解決を通じて、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技術を修得することを目的とする。

課題発見（気づき）・問題解決

- 実習施設での気づき
 - 栄養状態不良の患者が多いことに気づく。
 - 患者にとって食事がいかに大切で、楽しみなものであるかに気づく。患者への思いやりの気持ち。
 - 人により食事に対する考え方や感じ方が多種多様であることに気づく。
 - 予定外や予想外の出来事や要求に柔軟に対応する必要があることに気づく。
 - 医療において管理栄養士業務の大切さに気づく。
 - 入院から退院に至るまでの病状や栄養状態が刻々変化し、それに対応する必要性に気づく。

専門的知識と技術の統合

到達目標

傷病者の病態や栄養状態の特長に基づいた適正な栄養管理を行う。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	施設からの課題および自主課題におけるレポート作成 (50%)
上記以外	50	施設評価 (各項目ごとに5段階で評価) <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間、指示、規則を守っていたか (10%) ・ 身だしなみが実習に適切であったか (10%)

臨床実習1単位を取得するためには、45時間が必要である。実習時間が不足すると単位が認められないことがあるので留意する。実習先における臨床・校外実習評価表も含めて評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

臨床栄養学の教科書、臨床栄養学実習書、臨床栄養学実習II の課題レポート、配布資料

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

臨床栄養学 ・臨床栄養学実習 、臨床栄養学 ・臨床栄養学実習 を履修していること、

履修資格

講義名	臨床栄養臨地実習						担当教員	辰巳 佐和子
講義コード	1403180	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	334NUT383							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	6日目	症例実習 担当症例の割り振り、主治医や看護師に面会するとともに、カルテの閲覧を行う。患者に面会しあいさつする。	2		
		症例実習 担当症例の割り振り、主治医や看護師に面会するとともに、カルテの閲覧を行う。患者に面会しあいさつする。	2		
		症例実習 担当症例の割り振り、主治医や看護師に面会するとともに、カルテの閲覧を行う。患者に面会しあいさつする。	2	1日の実習で学んだことをまとめ	3
第4回	7日目	症例実習 症例のアセスメントを行う	2		
		症例実習 症例のアセスメントを行う	2		
		症例実習 症例のアセスメントを行う	2	1日の実習で学んだことをまとめ	3
第7回	8日目	症例実習 患者とコミュニケーションを取りながら栄養管理の経過観察を行う。	2		
		症例実習 患者とコミュニケーションを取りながら栄養管理の経過観察を行う。	2		
		症例実習 患者とコミュニケーションを取りながら栄養管理の経過観察を行う。	2	1日の実習で学んだことをまとめ	3
第10回	9日目	症例検討会 症例の説明、栄養ケア計画の発表し、実習担当者からアドバイスをいただく。	2		
		症例検討会 症例の説明、栄養ケア計画の発表し、実習担当者からアドバイスをいただく。	2		
		症例検討会 症例の説明、栄養ケア計画の発表し、実習担当者からアドバイスをいただく。	2	1日の実習で学んだことをまとめ	3
第13回	10日目	症例の栄養指導 ロールプレイ	2		
			2		
		実習先からの課題などのプレゼンテーション 臨地実習の総括	2	6～10日目(5日間)で学んだ内容	3

担当者から

体調管理をしっかりと行うように。

講義名	臨地実習事前事後指導						担当教員	辰巳 佐和子 / 奥村 万寿美 / 今井 絵理
講義コード	1403200	単位数	1	開講期	前期実習	授業方法	授	
ナンバリング番号	334NUT385							

授業概要

臨地実習の事前と事後に集中で行う。事前実習では、管理栄養士の実践活動の場である保健所、事業所、病院などにおける役割や業務内容、必要な知識、技術（臨床栄養学、栄養教育論、公衆栄養学、栄養管理プロセス論、給食経営管理論で習得済）を再度確認し、臨地実習をより意義のあるものとする。また、事後実習では、臨地実習で体験した様々なプログラムやそこで得られた新しい知見などを臨地実習場所ごとに発表する。臨地実習内容を自分自身の中で、より明確なものとし、そこでの体験や知識等を他の学生と共有する。

到達目標

(1) 事前指導では、「給食経営管理論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」における臨地実習の意義・目的を理解し、さらに保健所、特定給食施設（病院、学校、福祉施設）等における管理栄養士の役割や、業務内容、必要な知識・技術を再確認し、理解を深めることができる。そこから、それぞれの施設での実習に向けた課題を設定することができる。
(2) 事後指導では、臨地実習で体験した様々なプログラムや、そこで得られた新しい知見などを臨地実習場所ごとに発表を行い、臨地実習で得た知識・理解を、自分自身の中で、より明確なものとし、さらにそれぞれの体験や知識等を他の学生と共有する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に示す(1)については、実習前課題レポート(40%)、(2)については臨地実習報告書(60%)で評価する。
上記以外		

原則として、完全出席が条件となる。

欠席する場合は、担当教員に連絡をとり、指示をうけること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	臨地・校外実習 第2版	加藤 昌彦 他	建帛社	ISBN9784-4-7679-0641-6
2				
3				

プリント、実習ファイルを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

すでに手持ちの「給食経営管理論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「臨地・校外実習」の教科書が参考書となる。

前提学力等

履修資格

